

令和7年1月30日

令和6年度第10回定例松本市教育委員会

会 議 議 案

松本市教育委員会

令和6年度第10回定例松本市教育委員会付議案件

[議案]

- 第1号 松本市梓川生涯学習事業基金条例の廃止について  
第2号 指導上の措置について【非公開】

[報告]

- 第1号 部活動の地域クラブ活動への移行に係る調査の結果について

[周知]

- 1 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」の開催について
- 2 「発掘された松本2024」の開催について

[その他]

教育委員会資料
7. 1. 30
教育政策課

議案第 1 号

松本市梓川生涯学習事業基金条例の廃止について

1 趣旨

松本市梓川生涯学習事業基金の令和6年度末現在高が0円となる予定であることから、当基金条例を廃止することについて協議するものです。

2 松本市梓川生涯学習事業基金条例

別紙1のとおり

3 当基金の経過

別紙2のとおり

4 施行期日

令和7年4月1日

5 今後の予定

市議会2月定例会に議案として提出します。

担当	教育政策課
課長	小西 えみ
電話	33-3980

○松本市梓川生涯学習事業基金条例

平成17年3月22日

条例第72号

(目的)

第1条 この条例は、生涯学習の推進を図るための事業に要する財源に充てるため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第241条第1項の規定に基づき、松本市梓川生涯学習事業基金（以下「基金」という。）を設置することを目的とする。

(基金の積立て)

第2条 基金として積み立てる額は、一般会計歳入歳出予算で定める額とする。

(管理)

第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

2 基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。

(繰替運用)

第4条 市長は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(運用益金の処理)

第5条 基金の運用から生じる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上し、基金へ編入するものとする。

(処分)

第6条 市長は、第1条の事業に要する経費の財源に充てる場合に限り、基金を取り崩すことができる。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に、梓川村生涯学習事業基金の設置、管理及び処分に関する条例（平成6年梓川村条例第2号）の規定により積み立てられた現金は、この条例の相当規定により積み立てられた基金とみなす。

松本市梓川生涯学習事業基金経過

別紙 2

(単位：円)

	前年度末	積立額	取崩し額	当年度末	備 考
H17	200,000,000	127,822	0	200,127,822	
18	200,127,822	393,869	0	200,521,691	
19	200,521,691	1,722,559	0	202,244,250	
20	202,244,250	1,235,606	2,537,850	200,942,006	梓川小学校体育館改築初度調弁
21	200,942,006	1,703,858	6,704,820	195,941,044	梓川公民館改修（耐震診断等）
22	195,941,044	1,763,469	22,978,501	174,726,012	梓川公民館改修（主体工事等） 梓川図書館整備事業（実施設計、用地取得等）
23	174,726,012	1,446,253	11,000,000	165,172,265	梓川図書館整備（主体工事、図書購入費等）
24	165,172,265	1,117,534	0	166,289,799	
25	166,289,799	1,149,393	0	167,439,192	
26	167,439,192	34,932,989	0	202,372,181	旧梓川倭団地跡地売払い収入を積立
27	202,372,181	970,250	33,016,160	170,326,271	梓川小学校体育館アリーナ天井耐震化工事、梓川アカデミア館改修工事
28	170,326,271	432,248	0	170,758,519	
29	170,758,519	58,242,806	5,281,200	223,720,125	（一社）ふるさと振興公社残余財産を積立 アカデミア館空調及び排水設備改修工事
30	223,720,125	259,285	12,099,996	211,879,414	アカデミア館増築棟冷暖房設備改修工事等
R元	211,879,414	239,849	1,542,200	210,577,063	アカデミア館駐車場用地測量及び不動産鑑定
2	210,577,063	265,309	61,498,264	149,344,108	アカデミア館駐車場用地購入費及び工事請負費、梓川体育館トイレ改修工事、梓川図書館防犯カメラ設置工事
3	149,344,108	143,500	1,240,588	148,247,020	アカデミア館施設整備（空調設備、排煙設備）、梓川図書館施設整備（工事請負、備品購入）
4	148,247,020	86,389	1,080,000	147,253,409	梓川図書館外壁等修繕
5	147,253,409	91,988	99,653,000	47,692,397	梓川図書館紙芝居架、梓川アカデミア館ベンチ設置工事、梓川体育館大規模改修工事
6	47,692,397	83,469	47,775,866	0	積立（予定）：利子 取崩し（予定）：梓川体育館大規模改修工事
計		106,408,445	306,408,445		

## 報告第 1 号

## 部活動の地域クラブ活動への移行に係る調査の結果について

## 1 趣旨

部活動の地域クラブ活動への移行を進める中、スポーツや文化活動を「やってみたい」と考えている子どもたちを応援する制度をさらに整備・推進していくため、児童生徒及びその保護者並びに教員を対象としたニーズ調査を実施しましたので、その結果等について報告するものです。

## 2 調査の概要

## (1) 対象

- ア 小学5・6年生
- イ 小学5・6年生の保護者
- ウ 中学1・2年生
- エ 中学1・2年生の保護者
- オ 中学校教員

## (2) 期間

令和6年9月9日（月）から10月20日（日）まで

## (3) 方法

QRコード又はURLを通じて、調査回答フォームからオンラインで回答を求めた。

## (4) 回答状況

所属	調査対象者（名）	分析対象者（名）	有効回答率（％）
小学5・6年生	3, 574	2, 280	63. 8
中学1・2年生	3, 467	1, 130	32. 6
小学5・6年生保護者	3, 574	1, 231	34. 4
中学1・2年生保護者	3, 467	1, 292	37. 3
中学校教員	531	331	62. 3

注) 保護者へは、お子さん1名につき1回の回答を依頼した。

## 3 調査結果

別冊のとおり

## 4 主な結果

## (1) 小学5・6年生

- ア 中学生になったら、スポーツや文化活動をやってみたいかという問いに対して、「平日」は74. 2%、「休日」は73. 8%の児童が「やりたい」と回答した。
- イ やってみたいスポーツや文化活動の上位5位は、「平日」はバドミントン、吹奏楽、サッカー、バスケットボール、バレーボール、「休日」はサッカー、バドミントン、吹奏楽、eスポーツ、バスケットボールであった。
- ウ 地域クラブ活動に望むこととして、「楽しむことを大切にしてほしい」、「いじめな

どがないようにしてほしい」、「自分なりのペースで進めていくことを尊重してほしい」と回答した割合が高かった。

(2) 中学1・2年生

ア 「休日」のスポーツや文化活動への参加について、「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」と回答した生徒の割合は56.6%だった。

イ 「休日」にやってみたいスポーツや文化活動の上位5位は、バスケットボール、サッカー、吹奏楽、バレーボール、ソフトテニスであった。

ウ 地域クラブ活動への加入に伴う心配として、「どのくらいの費用（月謝）が掛かるか」、「指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること」、「家から活動場所まで通うこと（徒歩、自転車、車で送迎）ができるか」、「新しい仲間と関係を築くことができるか」と回答した割合が高かった。

(3) 小学5・6年生保護者および中学生保護者

ア 地域クラブ活動への加入に伴う心配として、両保護者ともに、「家から活動場所まで送迎できるか」、「どのくらい費用（月謝）が掛かるか心配」、「指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること」を回答した割合が高かった。

イ 地域クラブ活動への移行に伴って月謝が必要となる場合の許容できる金額は、小学5・6年生保護者においては平均約5,210円（中央値5,000円）、中学生保護者においては平均約4,518円（中央値4,000円）であった。

(4) 中学校教員

ア 部活動の顧問をしている教員の割合は59.2%であり、このうち部活動指導を負担と感じている教員は77.4%であった。

イ 移行後の「休日」の地域クラブ活動の指導希望について、77.3%の教員が「希望しない」、「どちらかといえば希望しない」と回答した。また、大会審判員等の運営者として協力することの可否についても、71.0%が「協力できない」、「できれば協力したくない」と回答した。

ウ 令和8年度以降の「平日」指導について、81.6%の教員が「希望しない」、「どちらかといえば希望しない」と回答した。また、指導者資格についても、82.8%が「なし」との回答であった。

5 今後の予定

(1) 本調査結果を、市ホームページに掲載します。

(2) 児童生徒及び保護者には、校務支援システム（C4th home&school）を通じて、情報共有します。

(3) 本調査結果を参考に、今後検討する支援策などの基礎資料として活用します。

【担当】

学校教育課 課長 清沢 卓子

学校支援室 室長 坂口 俊樹

電話 33-4397



別冊

令和 6 年度

# 部活動の地域クラブ活動への 移行に係る調査

結果の詳細



「やってみたい！」プロジェクト

子どもの

を応援する ガクトまつもと

令和 7 (2025) 年 2 月  
松本市教育委員会

## 目 次

目的	1
方法	1
結果と考察	
<b>小学5・6年生を対象とした調査の結果</b>	3
1 運動・スポーツ、文化の活動に対する思いと平日のスポーツ・文化活動への加入希望	4
2 平日に「やってみたい」種目や活動	5
3 休日のスポーツや文化活動の実施希望	9
4 休日に「やってみたい」種目や活動	10
5 「やってみたい」と思う種目・活動を選んだ理由	13
6 地域クラブ活動に望むこと	14
7 休日の地域クラブ活動の希望実施頻度と時間	15
<b>中学1・2年生を対象とした調査の結果</b>	17
1 運動やスポーツ、文化の活動に対する思い	18
2 部活動および地域クラブ活動への所属率	19
3 所属する部活動や地域クラブ活動の種目や活動	20
4 休日の地域クラブ活動への参加希望や活動に望むこと	22
5 地域クラブ活動への加入に伴う心配	25
<b>小学5・6年生保護者を対象とした調査の結果</b>	27
1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担	28
2 地域クラブのスポーツ・文化活動に望むこと	31
3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額	32
4 地域クラブ活動への加入に伴う心配	33
<b>中学生保護者を対象とした調査の結果</b>	35
1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担	36
2 地域クラブのスポーツ・文化活動に望むこと	39
3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額	40
4 地域クラブ活動への加入に伴う心配	41
<b>中学校教員を対象とした調査の結果</b>	43
1 部活動顧問の割合、休日部活動の負担感	44
2 休日の地域クラブ活動の指導希望	45
3 平日部活動の負担感、平日の地域クラブ活動の指導希望、指導者資格有無	47
4 指導者研修の希望	49



## 目 的

部活動の地域クラブ活動への移行が進められる中、スポーツや文化活動を「やってみたい」と考えている子どもたちを応援する制度をさらに整備・推進していく。そのため、子どもたちの願いや保護者、教職員の思いが前回の調査(令和4年度実施)からのどの程度変化しているかを把握し、新しい地域クラブの設立・運営を含めた環境づくりに活かすことを目的とした。

## 方 法

### 調査時期

本調査は、令和6(2024)年9月9日から10月20日までの期間で実施された。

### 調査対象者および分析対象者

調査対象者は、松本市立の小学校5・6年生とその保護者、松本市立の中学校1・2年生とその保護者、及び松本市立の中学校教職員であった。中学校教職員は、校長、教頭、教諭、講師、養護教諭、その他教職員を調査対象とした。調査対象者及び調査対象者のうち記入漏れや記入ミスがあったものを除く分析対象者の数を表1に示した。

表1 調査対象者および分析対象者

所属	調査対象者 (人)	分析対象者 (人)	有効回答率 (%)
小学5・6年生	3,574	2,280	63.8
中学1・2年生	3,467	1,130	32.6
小学5・6年生保護者	3,574	1,231	34.4
中学1・2年生保護者	3,467	1,292	37.3
中学校教員	531	331	62.3

注) 保護者へは、お子さん1名につき1回の回答を依頼した。

### 手続き

QRコード又はURLからリンクされた調査に、インターネット上で回答を求めた。

### 留意事項

- (1) 各対象者の結果の図表には、小数点第1位までの数値を記載した。そのため割合の合計は、必ずしも100%とならない。
- (2) 図においては質問項目を省略して表記している箇所がある。
- (3) 比率(%)は分析対象者に対する割合。前回調査との比較はポイント(p)で表している。

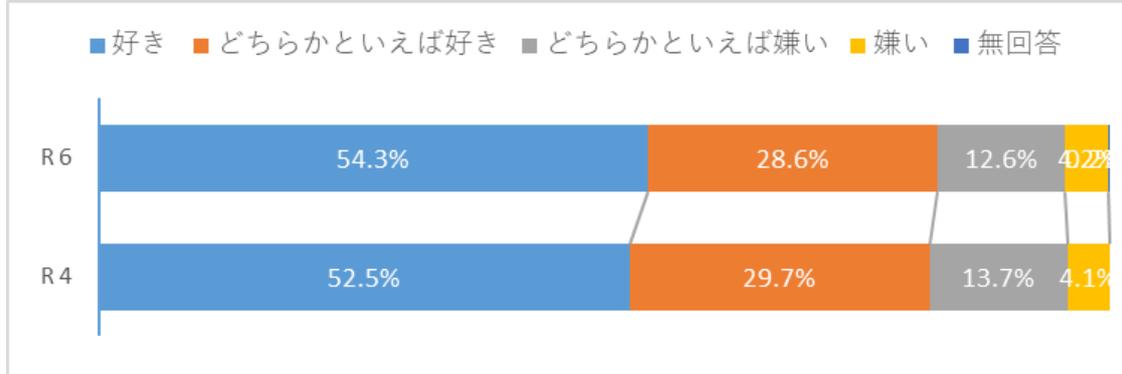


## 小学5・6年生を対象とした調査の結果

# 1 運動・スポーツ、文化の活動に対する思いと平日のスポーツ・文化活動への希望

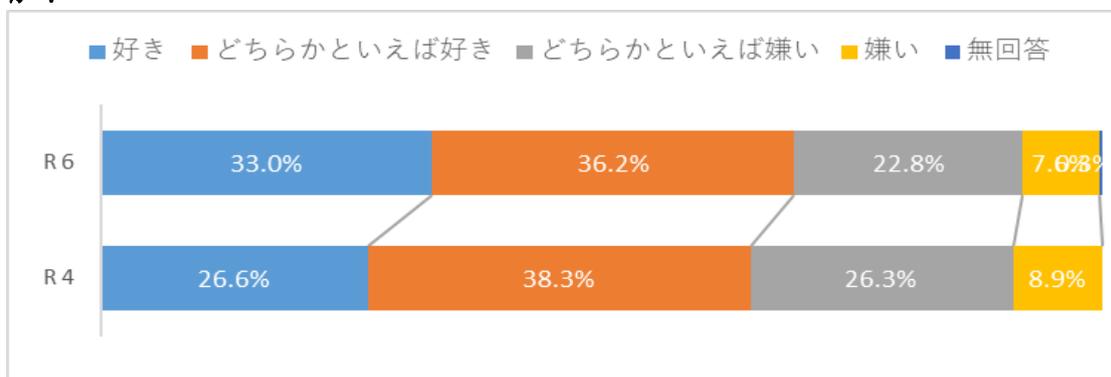
主な結果	
✓	運動やスポーツが「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者は全体の82.9%、文化活動に対して同様に回答した者は69.2%であり、ともに前回調査(R4)より高まっている(+0.7p、+4.3p)。
✓	小学5・6年生の74.2%は、「平日」にスポーツや文化活動を「やってみたい」と回答した。前回調査より7.0p減少。
✓	小学5・6年生の25.4%は、「平日」にスポーツや文化活動を「やりたくない」と回答した。前回調査より6.6p増加している。中学校に入学すると部活動への参加がなくなってくると放課後をどう過ごすか、まだ具体的な生活スタイルがイメージできないでいると考えられる。

## 問1 あなたは、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは、好きですか？



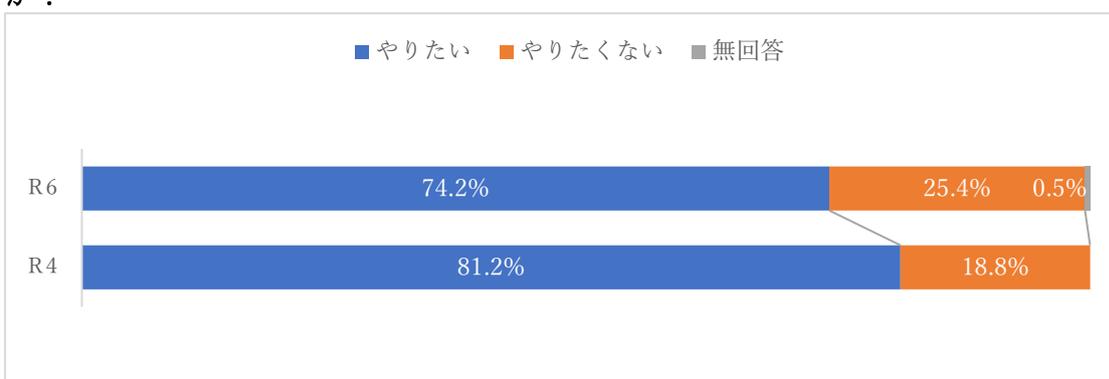
項目	n	R6	R4
好き	1,239	54.3%	52.5%
どちらかといえば好き	652	28.6%	29.7%
どちらかといえば嫌い	288	12.6%	13.7%
嫌い	96	4.2%	4.1%
無回答	5	0.2%	0.0%
合計	3,010	100%	100%

## 問2 あなたは、文化活動（楽器演奏、合唱、演劇、美術等）をすることは、好きですか？



項 目	n	R6	R4
好き	753	33.0%	26.6%
どちらかといえば好き	826	36.2%	38.3%
どちらかといえば嫌い	520	22.8%	26.3%
嫌い	174	7.6%	8.9%
無回答	7	0.3%	
合計	3,016	100%	100%

問3 中学生になったら、あなたは「平日」にスポーツや文化活動をやりたいですか？



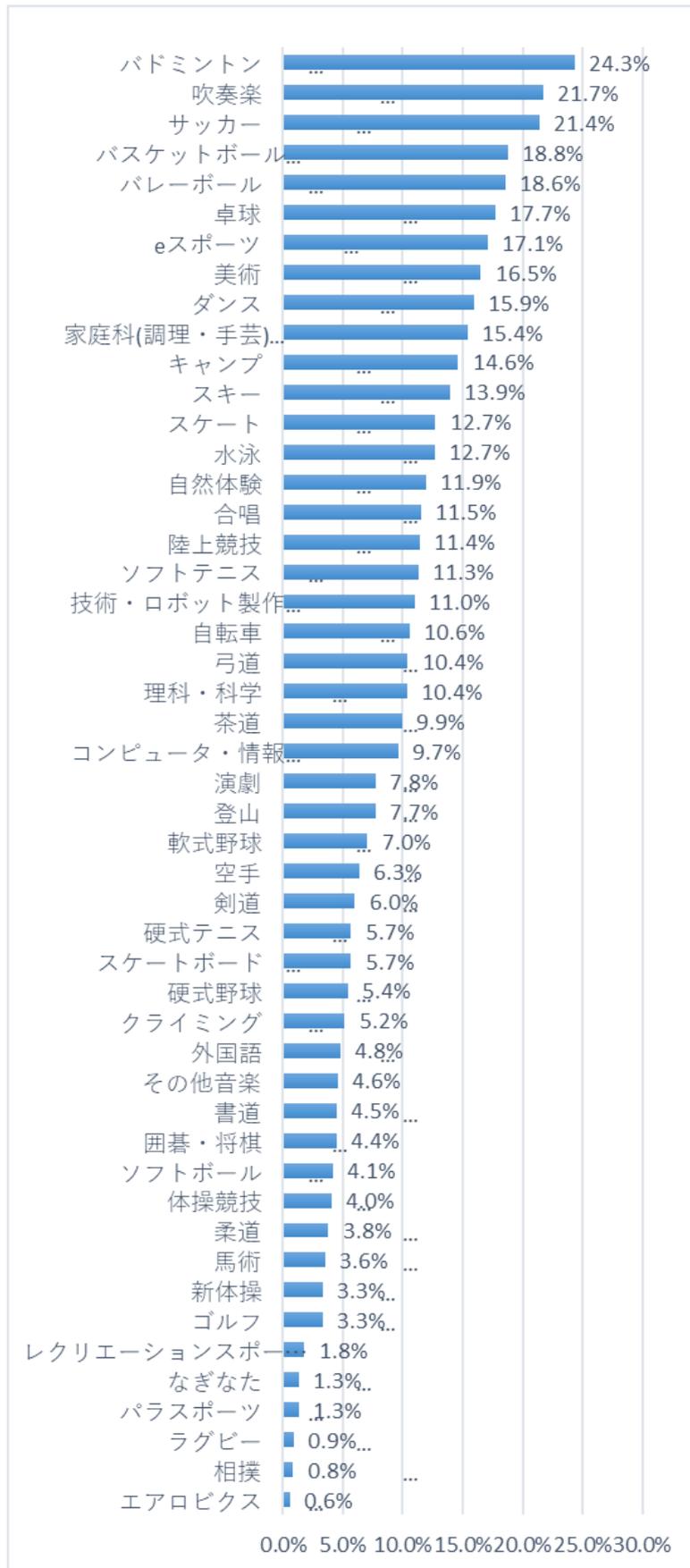
注) 問3で「やりたくない」と回答した人は問6へ

項 目	n	R6	R4
やりたい	1,691	74.2%	81.2%
やりたくない	578	25.4%	18.8%
無回答	11	0.5%	
合計	2,280	100%	100%

## 2 平日に「やってみたい」種目や活動

主な結果	
✓	「平日」に「やってみたい」と思う種目や活動は、バドミントン、吹奏楽、サッカー、バスケットボールなどが上位として多岐にわたっていた。
✓	「やってみたい」スポーツの種目については、前回とほとんど変化はない。
✓	文化活動では吹奏楽 21.7%、合唱 11.5%の割合が前回より上昇(+8.1p、+4.5p)。美術 16.5%、家庭科 15.4%を希望する割合が、前回(18.8%,17.0%)より減っている(-2.3p、-1.6p)が、依然として人気のある活動である。
✓	平日活動の希望回数は、週3回(25.0%)、週2回(20.6%)の順が多かった。

問4 「平日」に「やってみたい」と思う種目・活動を選んでください。いくつでも構いません

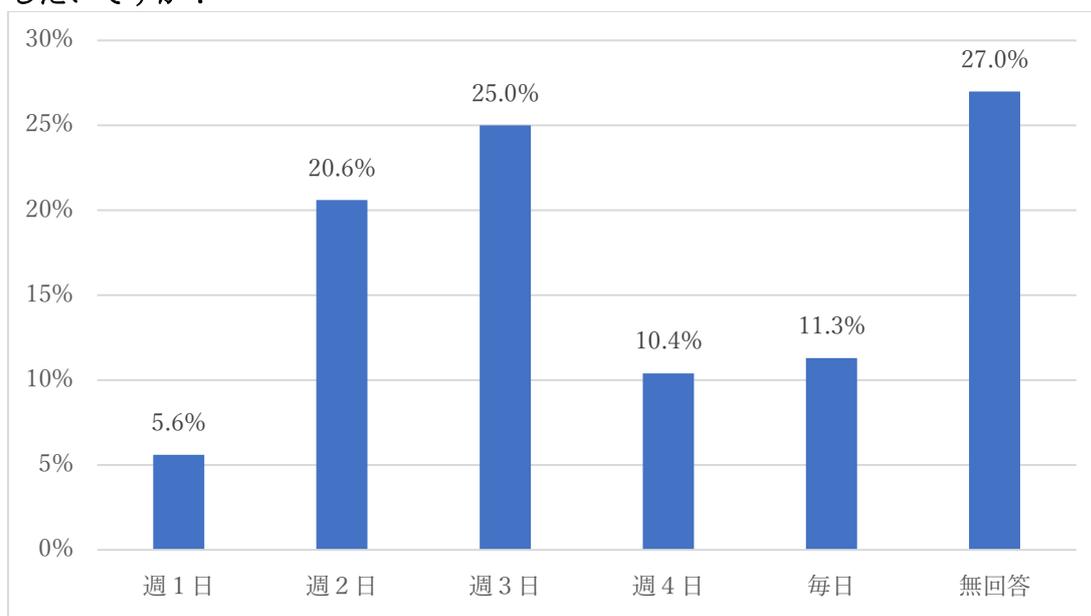


	種目・活動	n	%
1	バドミントン	411	24.3%
2	吹奏楽	367	21.7%
3	サッカー	361	21.4%
4	バスケットボール	317	18.8%
5	バレーボール	314	18.6%
6	卓球	299	17.7%
7	e スポーツ	289	17.1%
8	美術	279	16.5%
9	ダンス	269	15.9%
10	家庭科(調理・手芸)	260	15.4%
11	キャンプ	247	14.6%
12	スキー	235	13.9%
13	スケート	215	12.7%
14	水泳	214	12.7%
15	自然体験	201	11.9%
16	合唱	194	11.5%
17	陸上競技	193	11.4%
18	ソフトテニス	191	11.3%
19	技術・ロボット製作	185	11.0%
20	自転車	179	10.6%
21	弓道	176	10.4%
22	理科・科学	175	10.4%
23	茶道	168	9.9%
24	コンピュータ・情報	163	9.7%
25	演劇	131	7.8%
26	登山	130	7.7%
27	軟式野球	119	7.0%
28	空手	107	6.3%
29	剣道	101	6.0%
30	硬式テニス	96	5.7%
31	スケートボード	96	5.7%
32	硬式野球	91	5.4%
33	クライミング	87	5.2%
34	外国語	81	4.8%
35	その他音楽	77	4.6%
36	書道	76	4.5%
37	囲碁・将棋	75	4.4%
38	ソフトボール	70	4.1%
39	体操競技	68	4.0%
40	柔道	64	3.8%
41	馬術	60	3.6%
42	新体操	56	3.3%
43	ゴルフ	56	3.3%
44	レクリエーションスポーツ	30	1.8%
45	なぎなた	22	1.3%
46	パラスポーツ	22	1.3%
47	ラグビー	15	0.9%
48	相撲	14	0.8%
49	エアロビクス	10	0.6%

注 1) 問 4 の分析対象者は 1,689 名であった。

注 2) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

問5 平日に「やってみたい」と思うクラブの活動は、どれくらいの回数であれば参加したいですか？

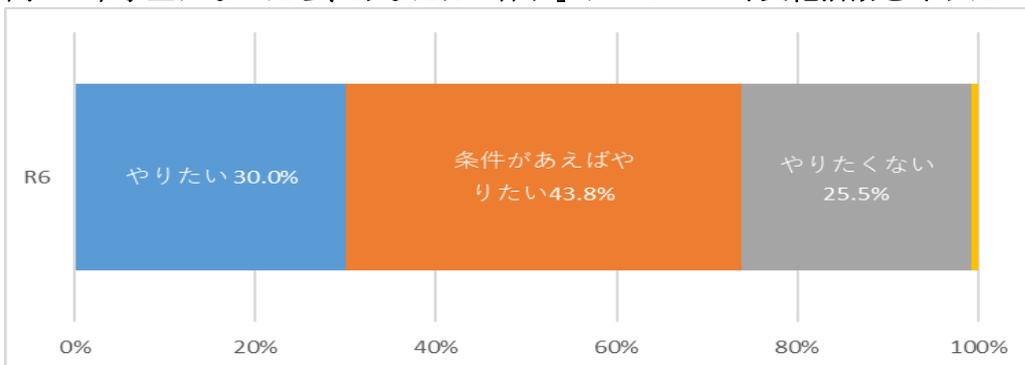


項目	n	%
週1日	128	5.6%
週2日	470	20.6%
週3日	571	25.0%
週4日	238	10.4%
毎日	257	11.3%
無回答	616	27.0%
合計	2,280	100%

### 3 休日のスポーツや文化活動の実施希望

主な結果	
✓	小学5・6年生の30.0%は、「休日」にスポーツや文化活動を「やりたい」と回答し、43.8%は「条件があればやりたい」と回答した。この結果、両者を含めると「平日」の「やりたい」(74.2%)と同程度の割合であった。(問3の結果より)
✓	条件付きではあるが「平日」にもスポーツや文化活動を「やりたい」児童が74.8%いるのに対し、平日・休日問わずに「やらない」と考えている児童(25.5%)がいる。
✓	どんな条件であればスポーツや文化活動をやりたいかの質問に対し、「自分にあったレベルであればやりたい」(67.9%)、「希望する活動時間がかなえられれば、やってみたい」(55.9%)の回答が半数を超えていた。

#### 問6 中学生になったら、あなたは「休日」にスポーツや文化活動をやりたいですか？



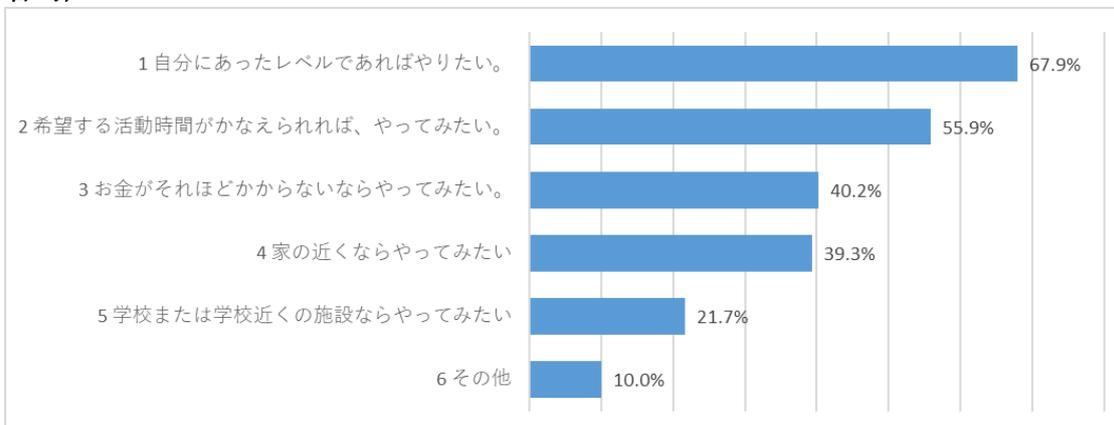
項目	n	%
やりたい	683	30.0%
条件があればやりたい	998	43.8%
やりたくない	582	25.5%
無回答	17	0.7%
合計	3,013	100%

注1) 問6で「やりたくない」と回答した方のアンケートは終了となる。

注2) 問6で「やりたい」と回答した方は問8に進む。

注3) 問6で「条件があれば、やりたい」と回答した方は問7に進む。

#### 問7 どんな条件であれば「休日」にスポーツや文化活動をやりたいですか？(複数回答可)



項 目	n	%
1 自分にあったレベルであればやりたい。	671	67.9%
2 希望する活動時間がかなえられれば、やってみたい。	552	55.9%
3 お金がそれほどかからないならやってみたい。	397	40.2%
4 家の近くならやってみたい	388	39.3%
5 学校または学校近くの施設ならやってみたい	214	21.7%
6 その他	99	10.0%

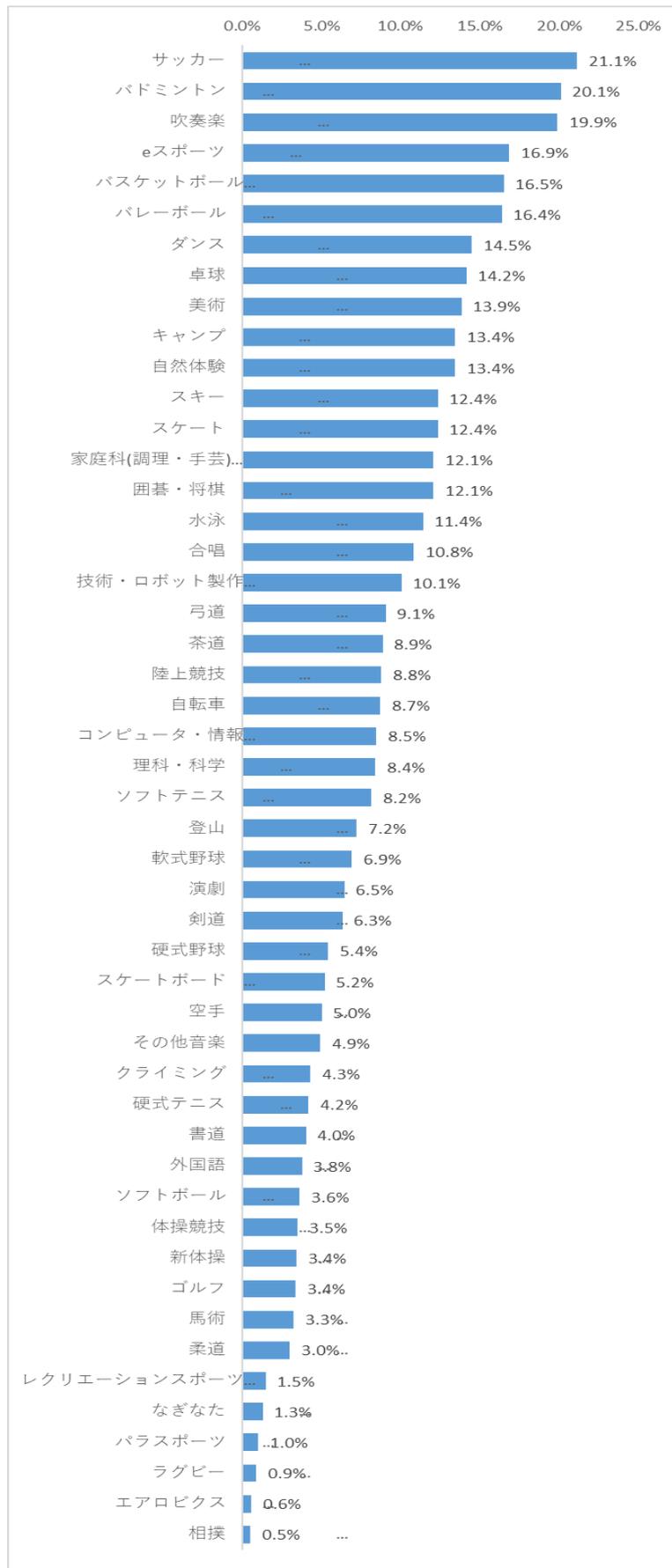
#### 4 休日に「やってみたい」種目や活動

主な結果	
✓	「休日」に「やってみたい」と思う種目や活動は、サッカー、バドミントン、バスケットボール、バレーボールなどが上位にある。
✓	今回調査では、「登山」(スポーツ系)と「eスポーツ」(文化活動系)を新しく選択項目に増やした。ダンス、eスポーツ、キャンプ等、現在の部活動にないものにも関心があることが分かった。専門的な知識がある指導者が見つけたりや活動できる環境が整えられる地域クラブが立ち上げられるか、外部団体との連携が課題となる。

問8 今、「休日」に「やりたい(やってみたい)」と思う種目・活動を選んでください。いくつでも構いません。

注1) 問7の分析対象者1689名であった。

注2) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

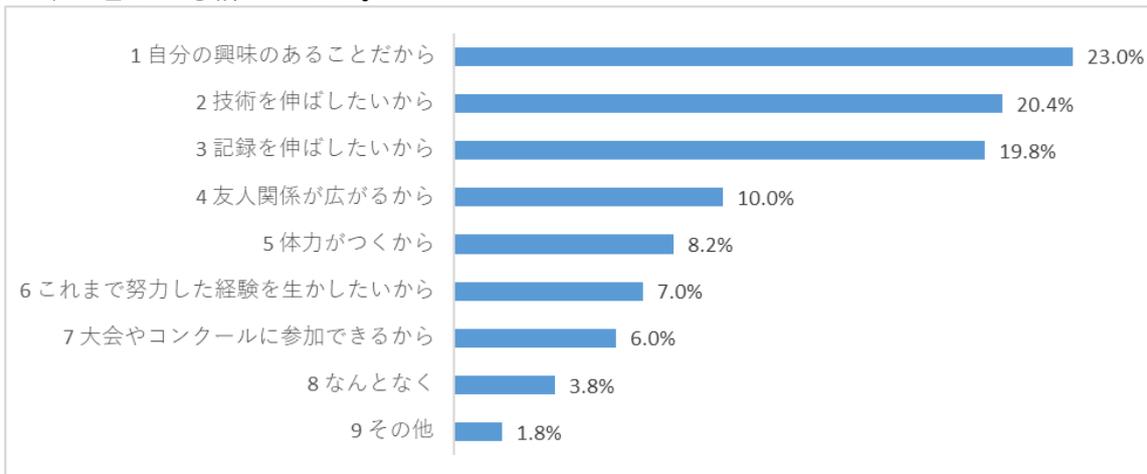


	種目・活動	n	%
1	サッカー	357	21.1%
2	バドミントン	340	20.1%
3	吹奏楽	336	19.9%
4	e スポーツ	285	16.9%
5	バスケットボール	279	16.5%
6	バレーボール	277	16.4%
7	ダンス	245	14.5%
8	卓球	239	14.2%
9	美術	234	13.9%
10	キャンプ	227	13.4%
11	自然体験	227	13.4%
12	スキー	209	12.4%
13	スケート	209	12.4%
14	家庭科(調理・手芸)	204	12.1%
15	囲碁・将棋	204	12.1%
16	水泳	193	11.4%
17	合唱	183	10.8%
18	技術・ロボット製作	170	10.1%
19	弓道	153	9.1%
20	茶道	150	8.9%
21	陸上競技	148	8.8%
22	自転車	147	8.7%
23	コンピュータ・情報	143	8.5%
24	理科・科学	142	8.4%
25	ソフトテニス	138	8.2%
26	登山	122	7.2%
27	軟式野球	117	6.9%
28	演劇	109	6.5%
29	剣道	107	6.3%
30	硬式野球	92	5.4%
31	スケートボード	88	5.2%
32	空手	85	5.0%
33	その他音楽(合唱や吹奏楽以外)	83	4.9%
34	クライミング	73	4.3%
35	硬式テニス	71	4.2%
36	書道	68	4.0%
37	外国語	64	3.8%
38	ソフトボール	61	3.6%
39	体操競技	59	3.5%
40	新体操	58	3.4%
41	ゴルフ	57	3.4%
42	馬術	55	3.3%
43	柔道	51	3.0%
44	レクリエーションスポーツ	25	1.5%
45	なぎなた	22	1.3%
46	パラスポーツ	17	1.0%
47	ラグビー	15	0.9%
48	エアロビクス	10	0.6%
49	相撲	9	0.5%

## 5 「やってみたい」と思う種目・活動を選んだ理由

主な結果	
✓	「やってみたい」と思う種目や活動を選んだ理由としては、「自分の興味のあることだから(23.0%)」「技術を伸ばしたいから(20.4%)」ことを挙げていた。
✓	一方で、「大会やコンクールに参加することができるから(6.0%)」を理由として挙げる者の割合は、他の項目よりも低かった。

問9 休日に「やってみたい」と思う種目・活動を選んだ理由について教えてください。いくつ選んでも構いません。

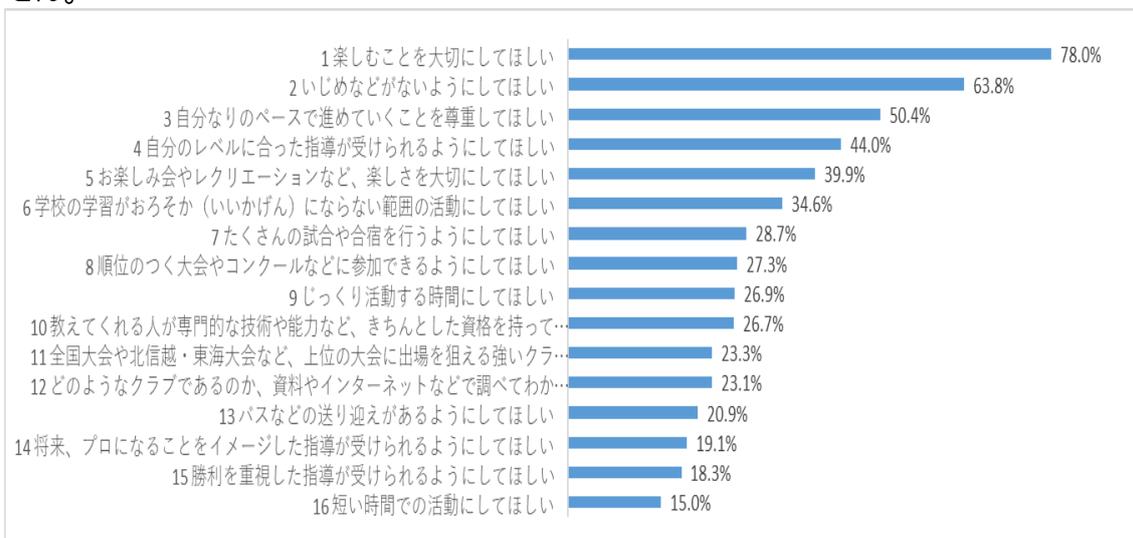


項目	n	%
1 自分の興味のあることだから	387	23.0%
2 技術を伸ばしたいから	343	20.4%
3 記録を伸ばしたいから	332	19.8%
4 友人関係が広がるから	168	10.0%
5 体力がつくから	137	8.2%
6 これまで努力した経験を生かしたいから	118	7.0%
7 大会やコンクールに参加できるから	101	6.0%
8 なんとなく	63	3.8%
9 その他	30	1.8%

## 6 地域クラブ活動に望むこと

主な結果	
✓	「やってみたい」と思う種目や活動のできるクラブに希望することとして、割合の高い項目は「楽しむこと」「いじめがないこと」「自分なりのペースで進められ」であり、前回調査と同様な傾向にあった。
✓	一方で「勝利にこだわった指導」については、他の項目と比較して低い割合を示した(18.3%)。

問10 休日に「やってみたい」と思う種目・活動のできるクラブに、どのようなことを希望しますか。こうしてほしいと思うことを教えてください。いくつ選んでも構いません。

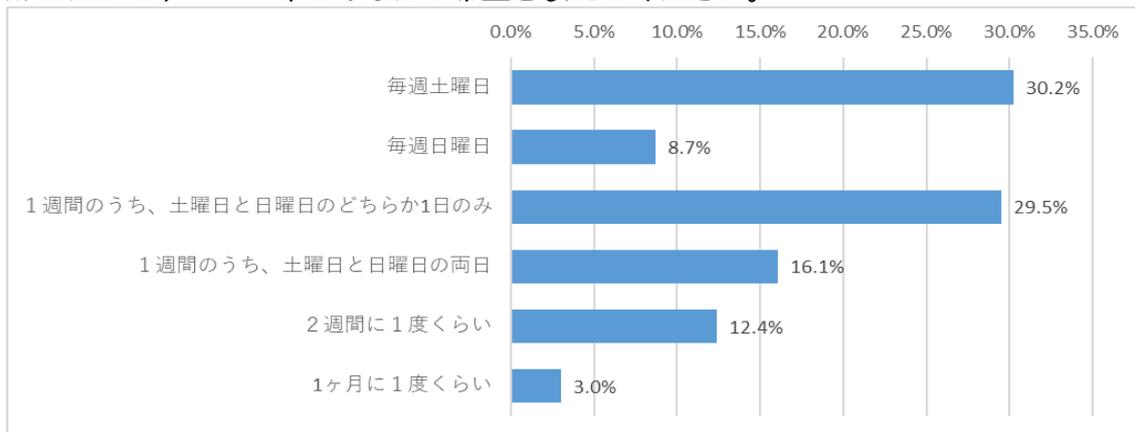


項目	n	%
1 楽しむことを大切にしてほしい	1,311	78.0%
2 いじめなどがないようにしてほしい	1,073	63.8%
3 自分なりのペースで進めていくことを尊重してほしい	847	50.4%
4 自分のレベルに合った指導が受けられるようにしてほしい	740	44.0%
5 お楽しみ会やレクリエーションなど、楽しさを大切にしてほしい	670	39.9%
6 学校の学習がおろそか(いいかげん)にならない範囲の活動にしてほしい	581	34.6%
7 たくさんの試合や合宿を行うようにしてほしい	483	28.7%
8 順位をつく大会やコンクールなどに参加できるようにしてほしい	459	27.3%
9 じっくり活動する時間にしてほしい	452	26.9%
10 教えてくれる人が専門的な技術や能力など、きちんとした資格を持ってほしい	448	26.7%
11 全国大会や北信越・東海大会など、上位の大会に出場を狙える強いクラブであってほしい	391	23.3%
12 どのようなクラブであるのか、資料やインターネットなどで調べてわかるようにしてほしい	389	23.1%
13 バスなどの送り迎えがあるようにしてほしい	351	20.9%
14 将来、プロになることをイメージした指導が受けられるようにしてほしい	321	19.1%
15 勝利を重視した指導が受けられるようにしてほしい	307	18.3%
16 短い時間での活動にしてほしい	252	15.0%

## 7 休日の地域クラブ活動の希望実施頻度と時間

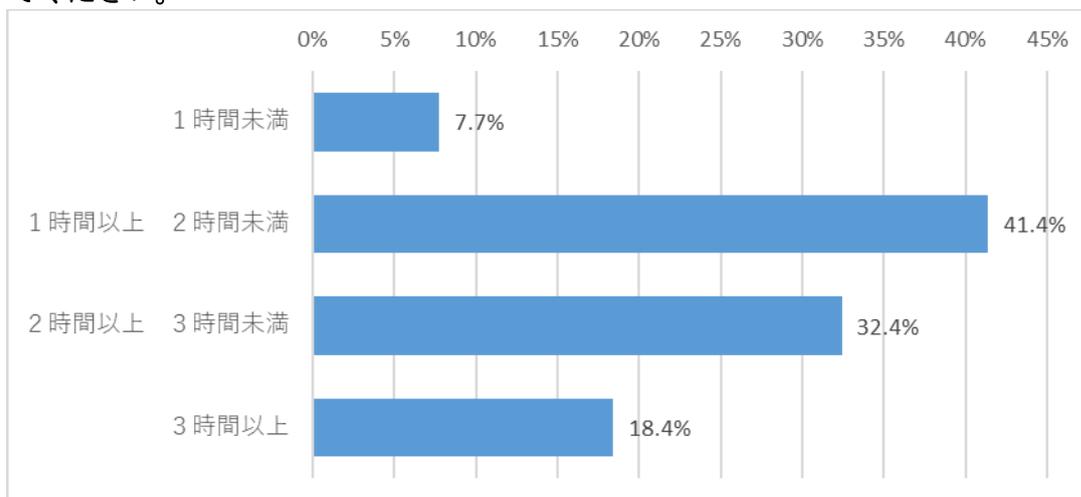
主な結果	
✓	「やってみたい」と思う地域クラブ活動の休日の実施頻度は、毎週土曜日(30.2%)または土日どちらか1日(29.5%)と高い割合であった。
✓	活動時間は、1時間以上2時間未満が41.4%、次いで2時間以上3時間未満が32.4%が希望している。各自、現在の体力を考慮しての結果と考えられる。

問11 休日に「やってみたい」と思うクラブの活動は、どれくらいの回数であれば参加したいですか？ 今のあなたの希望を教えてください。



項目	n	%
毎週土曜日	509	30.2%
毎週日曜日	147	8.7%
1週間のうち、土曜日と日曜日のどちらか1日のみ	497	29.5%
1週間のうち、土曜日と日曜日の両日	271	16.1%
2週間に1度くらい	209	12.4%
1ヶ月に1度くらい	51	3.0%
合計	1,684	100%

問12 どのくらいの時間の活動であれば参加したいですか？ 活動希望時間を教えてください。



項目	n	%
1時間未満	131	7.7%
1時間以上 2時間未満	701	41.4%
2時間以上 3時間未満	549	32.4%
3時間以上	312	18.4%

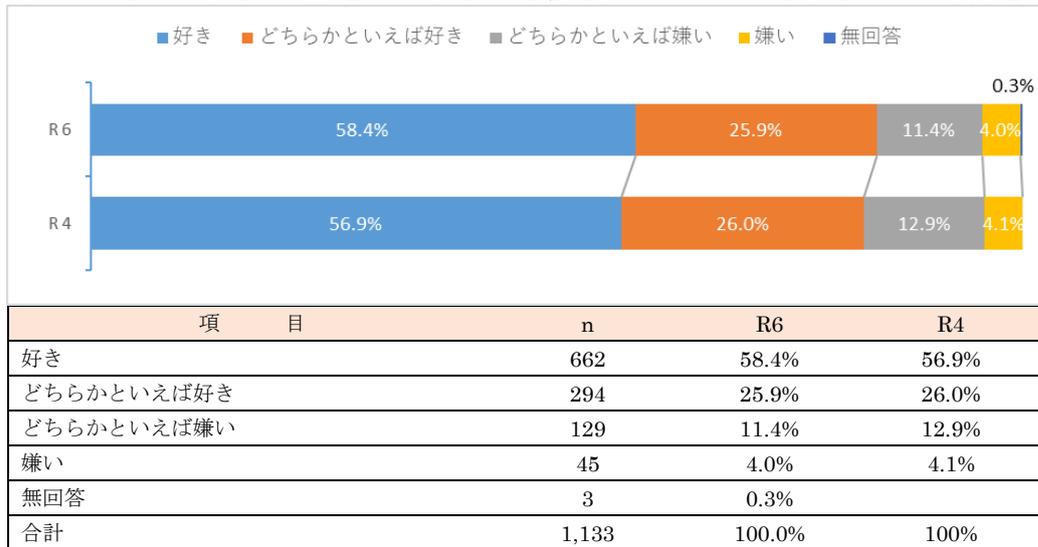
## 中学 1・2 年生を対象とした調査の結果

## 1 運動やスポーツ、文化の活動に対する思い

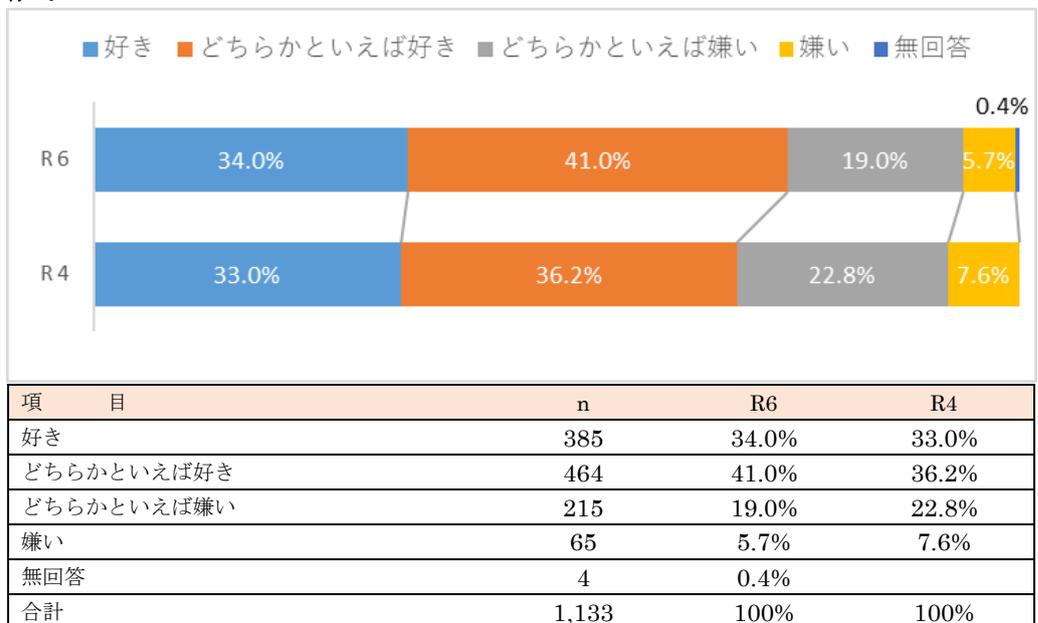
### 主な結果

- ✓ 運動やスポーツが「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者は全体の 84.3%、文化活動に対して同様に回答した者は 75.0%であった。前回調査より運動やスポーツが +1.4p、文化活動が+4.8p と、共に上昇している。

#### 問1 あなたは、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは、好きですか？



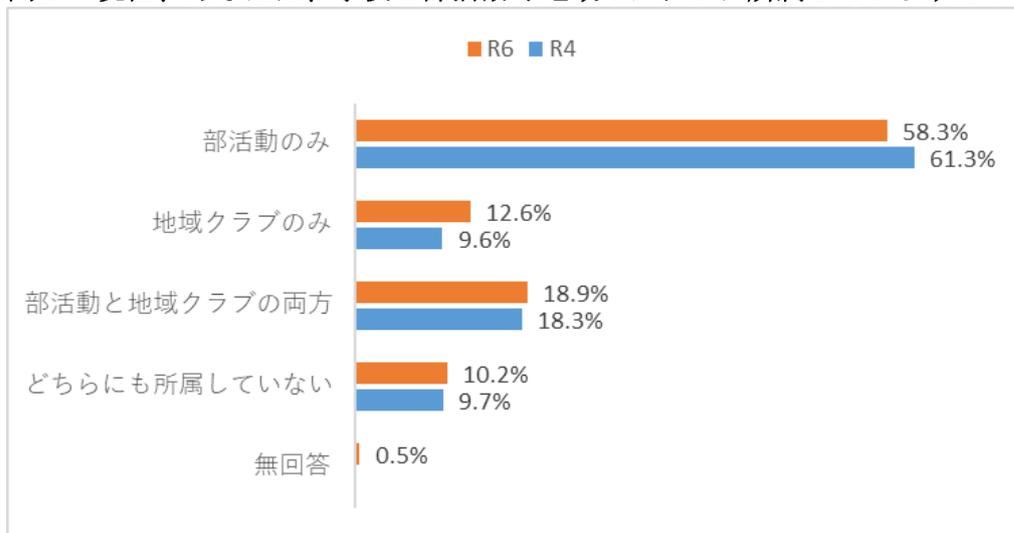
#### 問2 あなたは、文化活動（楽器演奏、合唱、演劇、美術等）をすることは、好きですか？



## 2 部活動および地域クラブ活動への所属率

主な結果	
✓	部活動に参加している者（地域クラブ活動との掛け持ちも含む）は 77.2%、地域クラブ活動に参加している者（部活動との掛け持ちも含む）は 31.5%であった。
✓	部活動への参加が減少(-3.0p)し、地域クラブへの参加が増え(+3.6p)ている。

### 問3 現在、あなたは、学校の部活動や地域のクラブに所属していますか？



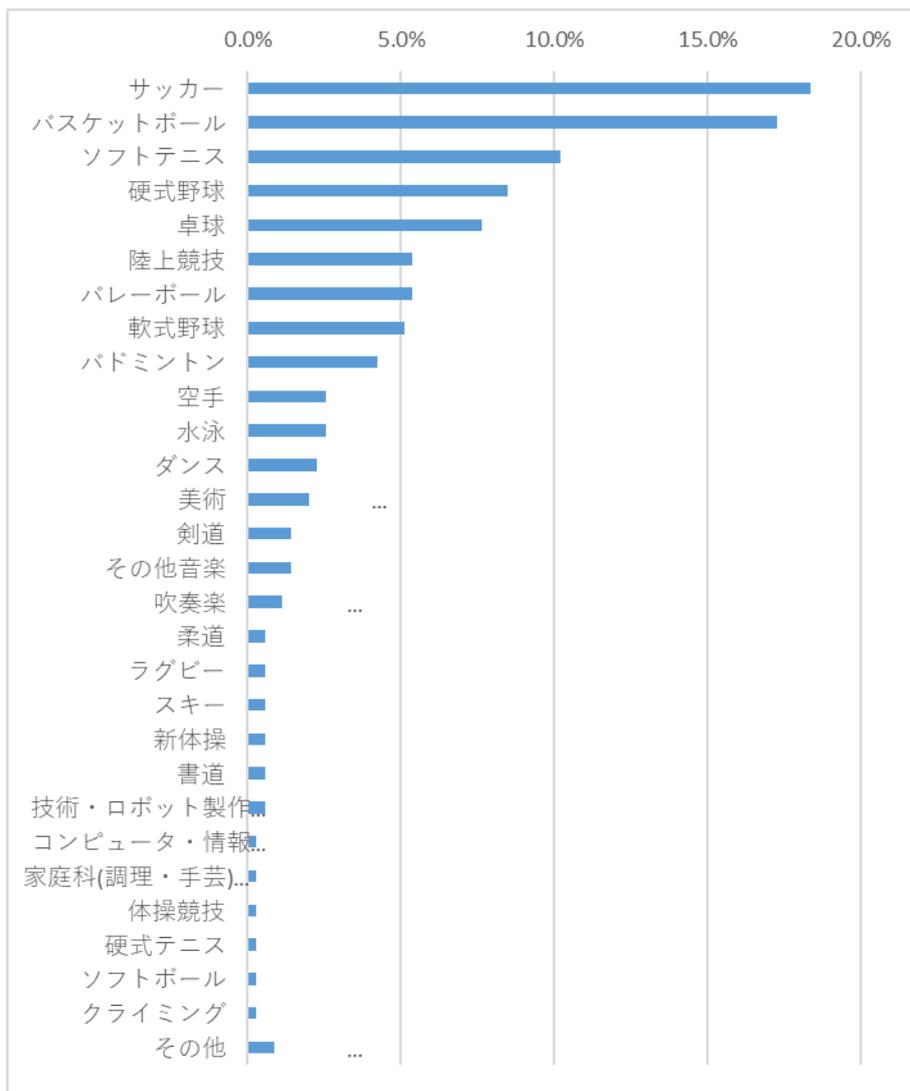
項目	n	R6	R4
1 「学校の部活動」のみに所属している	660	58.3%	61.3%
2 「地域のクラブ」のみに所属している	143	12.6%	9.6%
3 「学校の部活動」と「地域のクラブ」の両方に所属している	214	18.9%	18.3%
4 「学校の部活動」「地域のクラブ」のどちらにも所属していない	110	10.2%	9.7%
無回答	6	0.5%	0.5%
合計	1,133	100%	

注) 問3で「どちらにも所属していない」と回答した人は問5へ

### 3 所属する部活動や地域クラブ活動の種目や活動

主な結果	
✓	所属する地域クラブ活動の種目は、運動系においては「サッカー」「バスケットボール」「ソフトテニス」の順に高い所属率である。
✓	運動系クラブに比べて、文化系クラブへの所属率が低い。特に、学校部活動では大人数を占める「吹奏楽」や「美術」が、地域クラブへの所属は少ない。

#### 問4 所属しているそれぞれの活動はどのような種目ですか？



注1) 地域クラブに所属する 354 名の回答を分析

注2) 1 名につき 2 種目以上所属している種目は合算している。

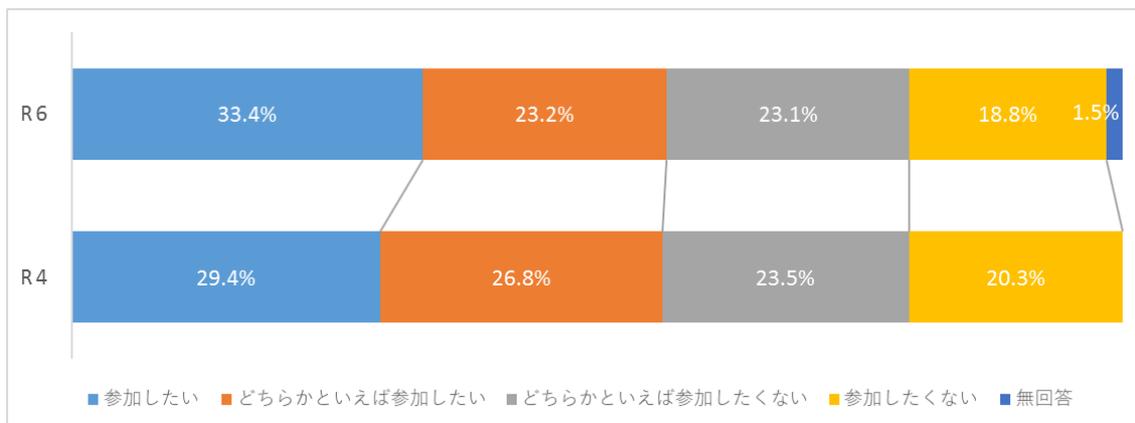
注3) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

	種目	n	%
1	サッカー	65	18.4%
2	バスケットボール	61	17.2%
3	ソフトテニス	36	10.2%
4	硬式野球	30	8.5%
5	卓球	27	7.6%
6	バレーボール	19	5.4%
7	陸上競技	19	5.4%
8	軟式野球	18	5.1%
9	バドミントン	15	4.2%
10	水泳	9	2.5%
11	空手	9	2.5%
12	ダンス	8	2.3%
13	美術	7	2.0%
14	その他音楽	5	1.4%
15	剣道	5	1.4%
16	吹奏楽	4	1.1%
17	技術・ロボット製作	2	0.6%
18	書道	2	0.6%
19	新体操	2	0.6%
20	スキー	2	0.6%
21	ラグビー	2	0.6%
22	柔道	2	0.6%
23	クライミング	1	0.3%
24	ソフトボール	1	0.3%
25	硬式テニス	1	0.3%
26	体操競技	1	0.3%
27	家庭科(調理・手芸)	1	0.3%
28	コンピュータ・情報	1	0.3%
29	その他	3	0.8%

## 4 休日の地域クラブ活動への参加希望や活動に望むこと

主な結果	
✓	休日の地域クラブ活動に「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答した者は56.6%であった。前回調査とほぼ同じ結果となったが、積極的な参加の割合が増えている(+4.0p)。
✓	休日に取り組みたい種目は、バスケットボール、サッカー、バレーボール、ソフトテニスなど部活動にある種目が上位を占めている。(R4 はバドミントン、卓球、バスケットボール、バレーボール)

### 問5 部活動が地域移行したら、あなたは休日のクラブ活動に参加したいですか？

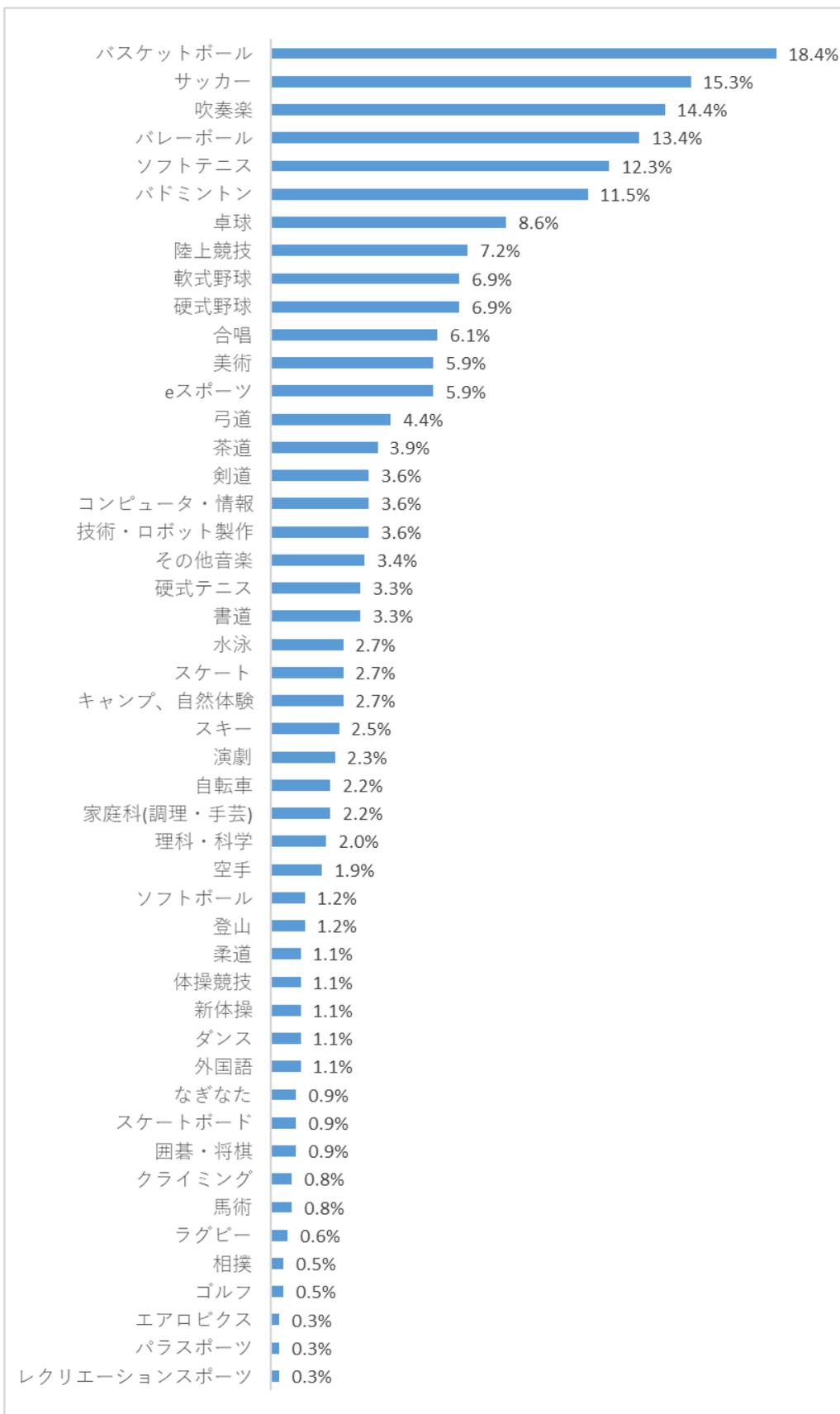


	n	R6	R4
参加したい	378	33.4%	29.4%
どちらかといえば参加したい	263	23.2%	26.8%
どちらかといえば参加したくない	262	23.1%	23.5%
参加したくない	213	18.8%	20.3%
無回答	17	1.5%	
合計	2853	100%	100%

注) 「どちらかといえば参加したくない」「参加したくない」と回答した人は、問8へ

問6 どのようなクラブ活動に取り組みたいですか？（複数回答可）

種目	n	%
バスケットボール	118	18.4%
サッカー	98	15.3%
吹奏楽	92	14.4%
バレーボール	86	13.4%
ソフトテニス	79	12.3%
バドミントン	74	11.5%
卓球	55	8.6%
陸上競技	46	7.2%
軟式野球	44	6.9%
硬式野球	44	6.9%
合唱	39	6.1%
美術	38	5.9%
eスポーツ	38	5.9%
弓道	28	4.4%
茶道	25	3.9%
剣道	23	3.6%
コンピュータ・情報	23	3.6%
技術・ロボット製作	23	3.6%
その他音楽	22	3.4%
硬式テニス	21	3.3%
書道	21	3.3%
水泳	17	2.7%
スケート	17	2.7%
キャンプ、自然体験	17	2.7%
スキー	16	2.5%
演劇	15	2.3%
自転車	14	2.2%
家庭科(調理・手芸)	14	2.2%
理科・科学	13	2.0%
空手	12	1.9%
ソフトボール	8	1.2%
登山	8	1.2%
柔道	7	1.1%
体操競技	7	1.1%
新体操	7	1.1%
ダンス	7	1.1%
外国語	7	1.1%
なぎなた	6	0.9%
スケートボード	6	0.9%
囲碁・将棋	6	0.9%
クライミング	5	0.8%
馬術	5	0.8%
ラグビー	4	0.6%
相撲	3	0.5%
ゴルフ	3	0.5%
エアロビクス	2	0.3%
パラスポーツ	2	0.3%
レクリエーションスポーツ	2	0.3%
その他	30	4.7%

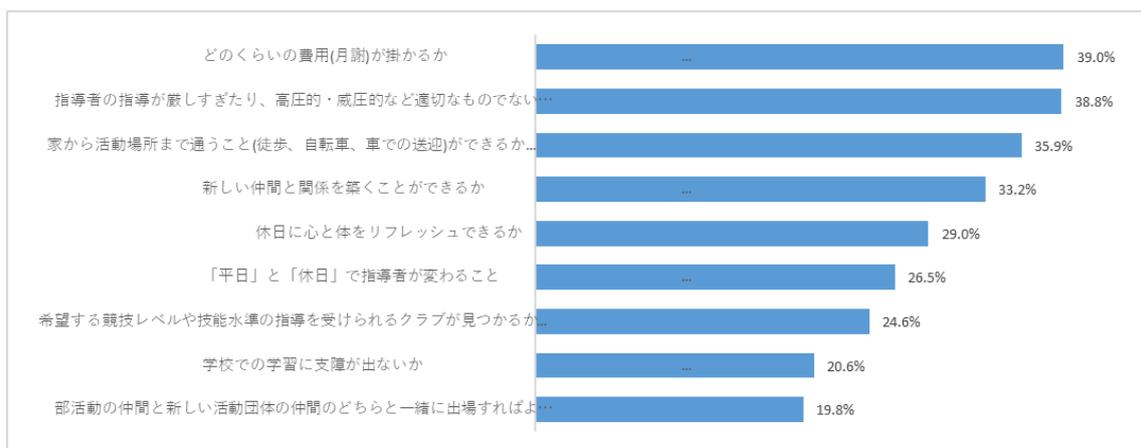


注1) 問6の分析対象者は641名であった。  
 注2) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外を指す。

## 5 地域クラブ活動への加入に伴う心配

主な結果	
✓	地域クラブ活動への加入に伴う心配や困りそうなこととしては、「どのくらいの費用(月謝)が掛かるか」(39.0%)、「指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること」(38.8%)は前回調査と同様の傾向を示しており、子どもたちが心配している点である。
✓	「家から活動場所まで通うこと」を心配する割合が増えている。(35.9%)

問7 地域クラブに自分が在籍する場合、心配なことや困りそうなことはありますか？あなたの考えとして、あてはまるものを選んでください。(複数回答可)



項目	n	%
どのくらいの費用(月謝)が掛かる	250	39.0%
指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること	249	38.8%
家から活動場所まで通うこと(徒歩、自転車、車での送迎)ができるか	230	35.9%
新しい仲間と関係を築くことができるか	213	33.2%
休日に心と体をリフレッシュすることができるか	186	29.0%
「平日」と「休日」で指導者が変わる事	170	26.5%
希望する競技レベルや技能水準の指導を受けられるクラブが見つかるか。	158	24.6%
学校での学習に支障が出ないか	132	20.6%
部活動の仲間と、新しい活動団体の仲間のどちらと一緒に大会やコンクールに出場すればよいか困りそう	127	19.8%

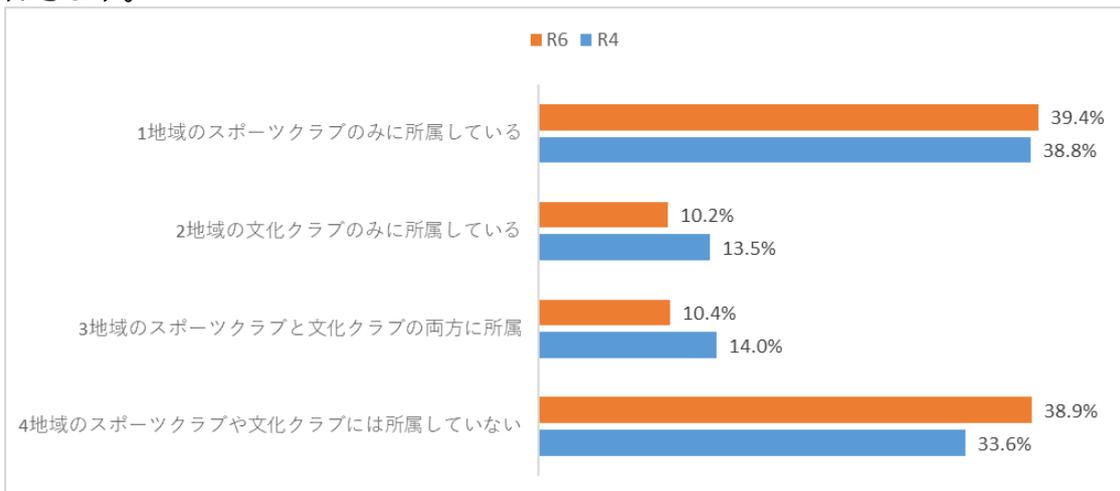


## 小学5・6年生保護者を対象とした調査の結果

## 1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担

主な結果	
✓	地域クラブ活動に所属している割合は 60.0%であった。前回調査より減少(-6.4P)した。
✓	地域クラブ活動の月謝の平均は 6,265 円であり、月謝以外の年間費用負担の平均は 29,760 円であった。

問1 現在、あなたのお子さんが所属しているクラブはありますか？ なお、クラブは運動やスポーツだけでなく、ピアノや書道などの習い事を含めます。ただし、学習塾は除きます。



項目	n	R6	R4
1 地域のスポーツクラブのみに所属している	485	39.4%	38.8%
2 地域の文化クラブのみに所属している	125	10.2%	13.5%
3 地域のスポーツクラブと文化クラブの両方に所属している	128	10.4%	14.0%
4 地域のスポーツクラブや文化クラブには所属していない	479	38.9%	33.6%
その他	14	1.1%	
合計	1,231	100%	100%

注) 問1で「所属していない」を選んだ人は問4へ

問2 お子さんが所属するクラブに支払っている月謝はどの程度ですか？クラブを掛け持ちして所属している場合は、最も高いクラブの月謝について回答してください。年間または半年ごとでお支払いの方は、月平均でお答えください。

(円)

基礎統計量	R6	R4
平均値	6,265	6,545
中央値	5,000	6,000
最小値	0	0
最大値	40,000	50,000

注) 分析対象者は 644 名であった。

### 小学生保護者がクラブに支払う月謝の度数分布

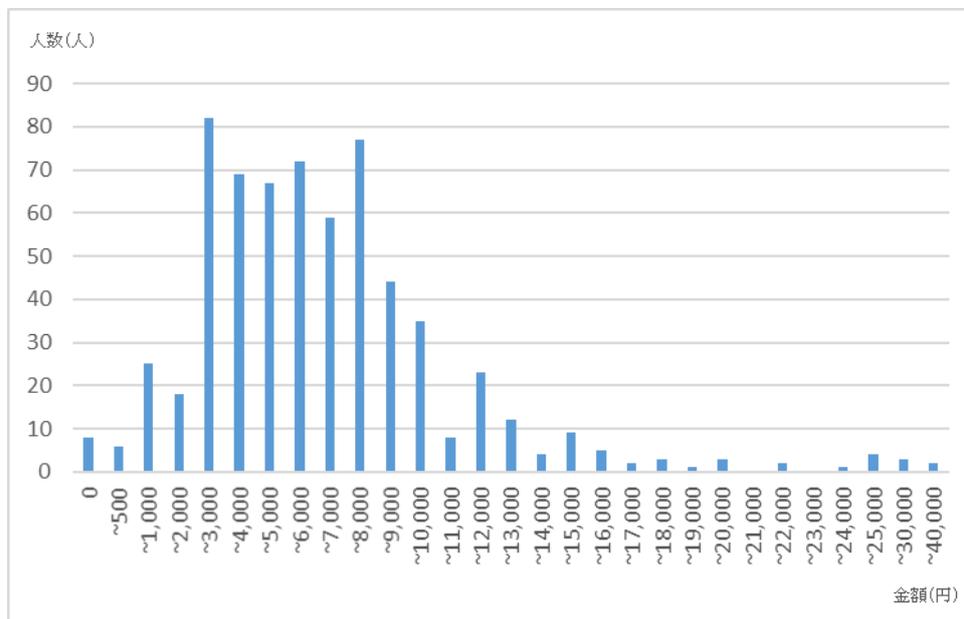
(円)

金額	0	~500	~1,000	~2,000	~3,000	~4,000	~5,000	~6,000
人数	8	6	25	18	82	69	67	72

金額	~7,000	~8,000	~9,000	~10,000	~11,000	~12,000	~13,000	~14,000
人数	59	77	44	35	8	23	12	4

金額	~15,000	~16,000	~17,000	~18,000	~19,000	~20,000	~21,000	~22,000
人数	9	5	2	3	1	3	0	2

金額	~23,000	~24,000	~25,000	~30,000	~40,000	総計
人数	0	1	4	3	2	644



問3 月謝以外に支払っている年間の費用負担（例：光熱費、大会・コンクール参加代、遠征代などの諸経費）は、どの程度ですか？

(円)

基礎統計量	R6	R4
平均値	29,760	28,276
中央値	10,000	10,000
最小値	0	200
最大値	800,000	500,000

注) 分析対象者は666名であった。

小学生保護者がクラブに支払う年間費用負担の度数分布

(円)

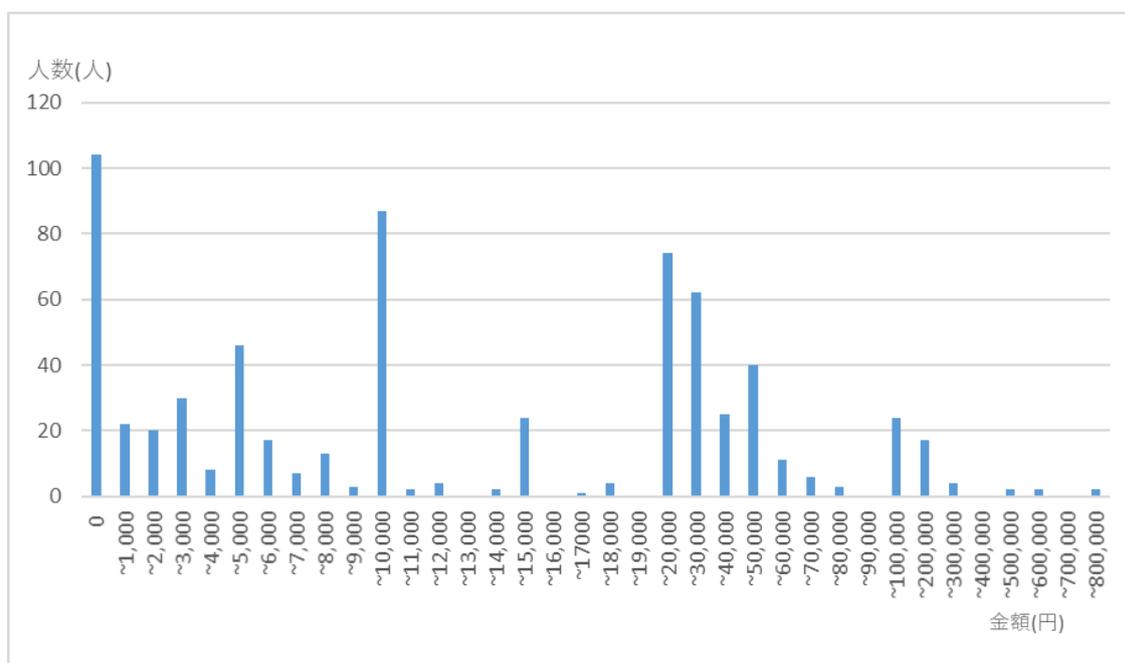
金額	0	~1,000	~2,000	~3,000	~4,000	~5,000	~6,000	~7,000
人数	104	22	20	30	8	46	17	7

金額	~8,000	~9,000	~10,000	~11,000	~12,000	~13,000	~14,000	~15,000
人数	13	3	87	2	4	0	2	24

金額	~16,000	~17,000	~18,000	~19,000	~20,000	~30,000	~40,000	~50,000
人数	0	1	4	0	74	62	25	40

金額	~60,000	~70,000	~80,000	~90,000	~100,000	~200,000	~300,000	~400,000
人数	11	6	3	0	24	17	4	0

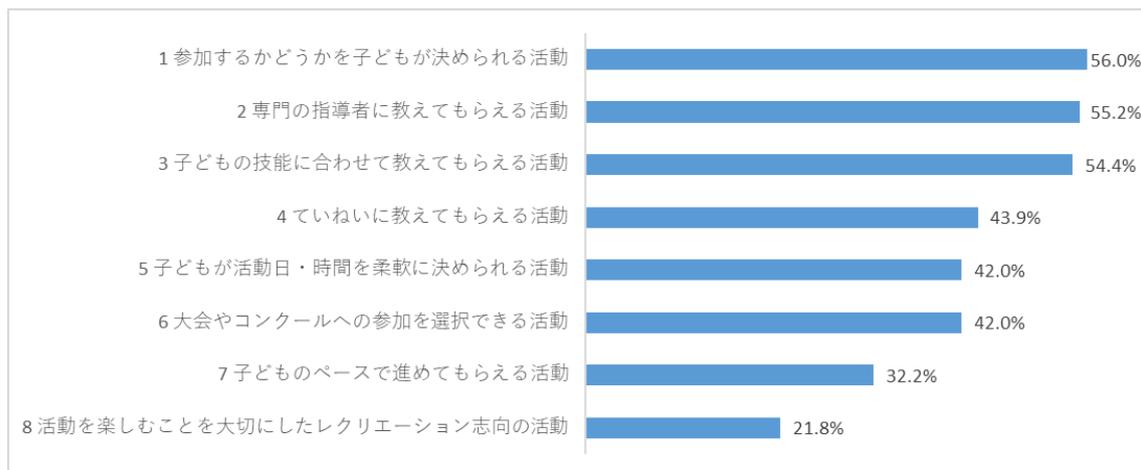
金額	~500,000	~600,000	~700,000	~800,000	総計
人数	2	2	0	2	666



## 2 地域クラブのスポーツ・文化活動に望むこと

主な結果	
✓	どのような活動であれば、お子さんが休日のスポーツや文化の活動をしたいと思うかを尋ねたところ、「参加するかどうかを子どもが決められる活動」「専門の指導者に教えてもらえる活動」「子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動」の順で回答した割合が高かった。

問4 あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想定し、質問にご回答ください。どのような活動であれば、あなたのお子さんは休日のスポーツや文化の活動をしたいと考えますか？（複数回答可）



項目	n	%
1 参加するかどうかを子どもが決められる活動	668	56.0%
2 専門の指導者に教えてもらえる活動	658	55.2%
3 子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動	649	54.4%
4 ていねいに教えてもらえる活動	523	43.9%
5 子どもが活動日・時間を柔軟に決められる活動	501	42.0%
6 大会やコンクールへの参加を選択できる活動	501	42.0%
7 子どものペースで進めてもらえる活動	384	32.2%
8 活動を楽しむことを大切にしたいレクリエーション志向の活動	260	21.8%

### 3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額

主な結果	
✓	移行後の地域クラブ活動に対して月謝を支払う場合、許容される金額は、平均 5,210 円であった。地域クラブに加入している家庭が支払っている月謝の平均値の前回調査 (6,265 円) からは、1,055 円低い値であった。

問5 あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想定した場合、月謝はいくらまでであれば許容できますか？

(円)

基礎統計量	R6	R4
平均値	5,210	4,715
中央値	5,000	5,000
最小値	0	0
最大値	50,000	70,000

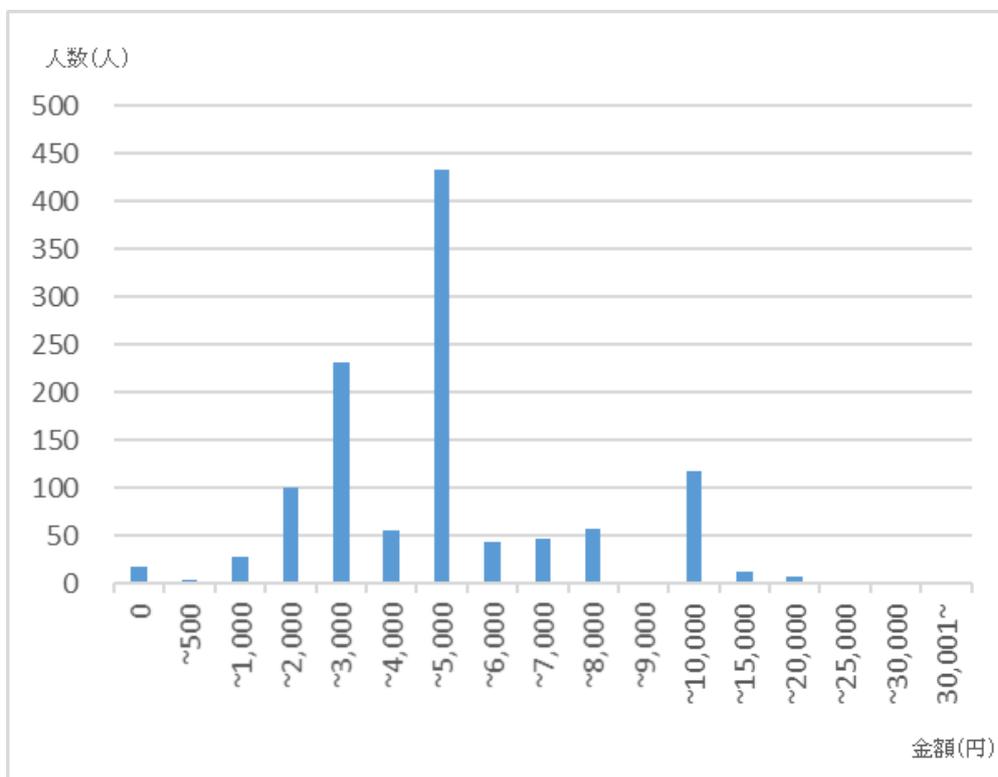
注1) 分析対象者は 1,164 名であった。

(円)

金額	0	~500	~1,000	~2,000	~3,000	~4,000	~5,000	~6,000
人数	17	4	28	100	232	56	433	44

金額	~7,000	~8,000	~9,000	~10,000	~15,000	~20,000	~25,000	~30,000
人数	48	58	1	118	12	7	2	2

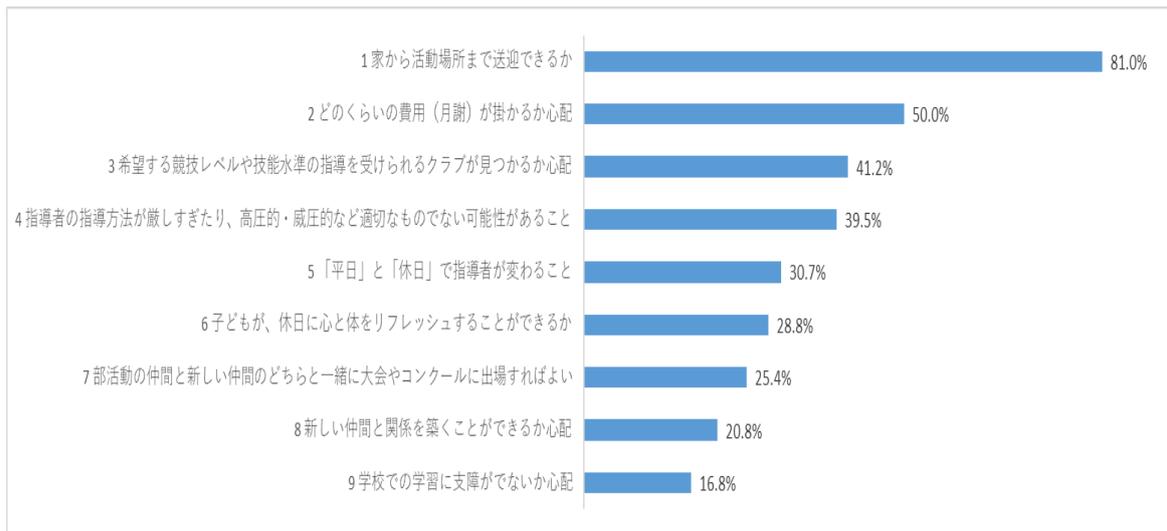
金額	30,001~	総計
人数	2	1,164



## 4 地域クラブ活動への加入に伴う心配

主な結果	
✓	地域クラブ活動への加入に伴う心配や不安としては、「家から活動場所まで送迎できるか」を81.0%の保護者が心配している。次の「どのくらいの費用(月謝)が掛かるか」50.0%と比べても、保護者にとって大きな心配事である。

問6 平日の部活動はなくなり、地域クラブで活動するようになったとき、心配なことや不安なことはありますか？ 今のあなたの考えを選んでください。(複数回答可)



項目	n	%
1 家から活動場所まで送迎できるか	961	81.0%
2 どのくらいの費用(月謝)が掛かるか心配	593	50.0%
3 希望する競技レベルや技能水準の指導を受けられるクラブが見つかるか心配	489	41.2%
4 指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること	469	39.5%
5 「平日」と「休日」で指導者が変わる	365	30.7%
6 子どもが、休日に心と体をリフレッシュすることができるか	342	28.8%
7 部活動の仲間と、新しい活動団体の仲間のどちらと一緒に大会やコンクールに出場すればよいか困りそう	302	25.4%
8 新しい仲間と関係を築くことができるか心配	247	20.8%
9 学校での学習に支障がでないか心配	199	16.8%

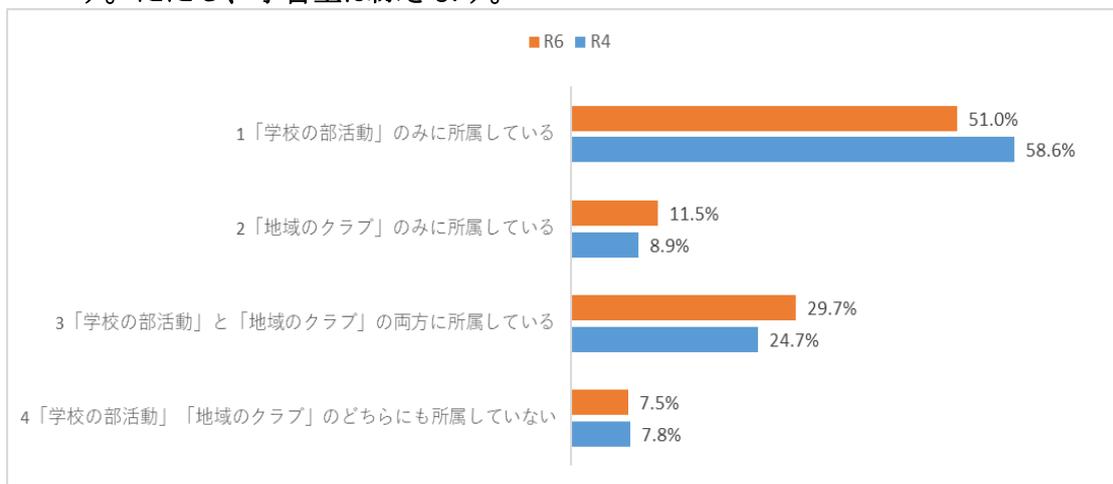


## 中学生保護者を対象とした調査の結果

## 1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担

主な結果	
✓	部活動に参加している者（地域クラブ活動との掛け持ちも含む）の割合は 80.7%(-2.6p)、地域クラブ活動に参加している者（部活動との掛け持ちも含む）の割合は 41.2%(+7.6p)であった。
✓	部活動にも地域クラブ活動にも参加していない者は 7.5%(-0.3p)であった。
✓	地域クラブ活動の月謝の平均は 6,148 円であり、月謝以外の年間費用負担の平均は 30,895 円であった。

問1 現在、あなたのお子さんは、学校の部活動や地域のクラブに所属していますか？  
 なお、クラブは運動やスポーツだけでなく、ピアノや書道などの習い事を含めます。ただし、学習塾は除きます。



項目	n	R6	R4
1 「学校の部活動」 のみに所属している	659	51.0%	58.6%
2 「地域のクラブ」 のみに所属している	148	11.5%	8.9%
3 「学校の部活動」と「地域のクラブ」の両方に所属している	384	29.7%	24.7%
4 「学校の部活動」「地域のクラブ」のどちらにも所属していない	97	7.5%	7.8%
無回答	4	0.3%	
合計	1,292	100%	100%

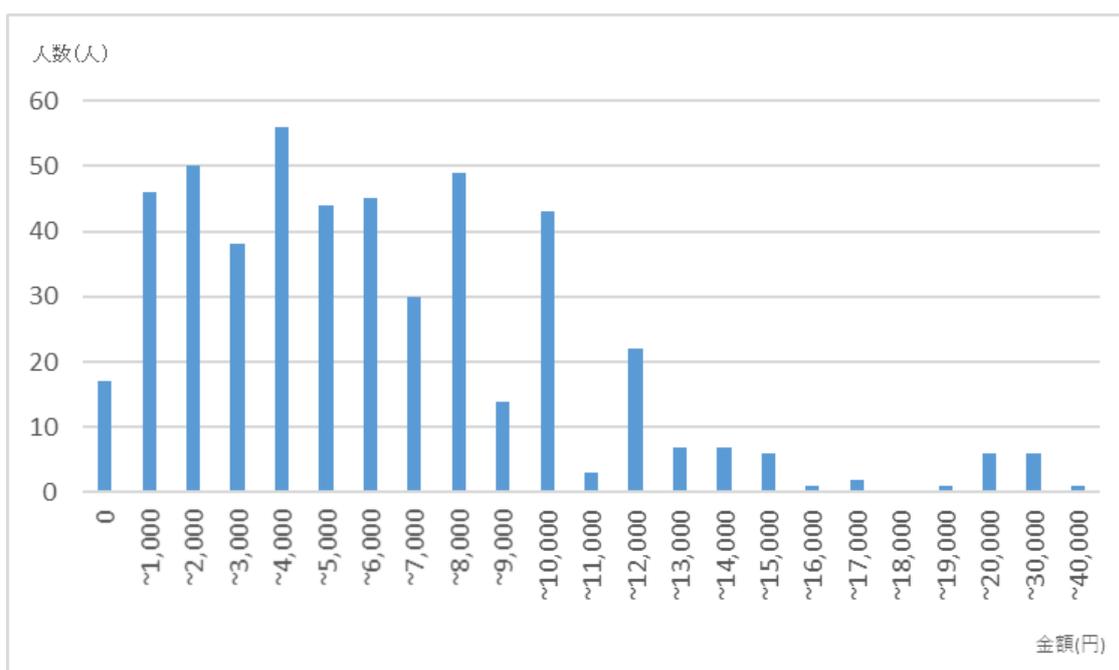
注) 問1で「1」「4」と回答した人は、問4へ

問2 問1で2,3のいずれかに回答した方にお尋ねします。  
 お子さんが所属する部活動やクラブに支払っている部費や月謝ほどの程度ですか？  
 部活動やクラブを掛け持ちして所属している場合は、最も高いクラブの月謝について  
 回答してください。年間または半年ごとでお支払いの方は、月平均でお答えください。

基礎統計量		金額 (円)
平均値		6,148
中央値		5,000
最小値		0
最大値		40,000

注1) 分析対象者は494名

金額	0	~1,000	~2,000	~3,000	~4,000	~5,000	~6,000	~7,000
人数	17	46	50	38	56	44	45	30
金額	~8,000	~9,000	~10,000	~11,000	~12,000	~13,000	~14,000	~15,000
人数	49	14	43	3	22	7	7	6
金額	~16,000	~17,000	~18,000	~19,000	~20,000	~30,000	~40,000	総計
人数	1	2	0	1	6	6	1	494



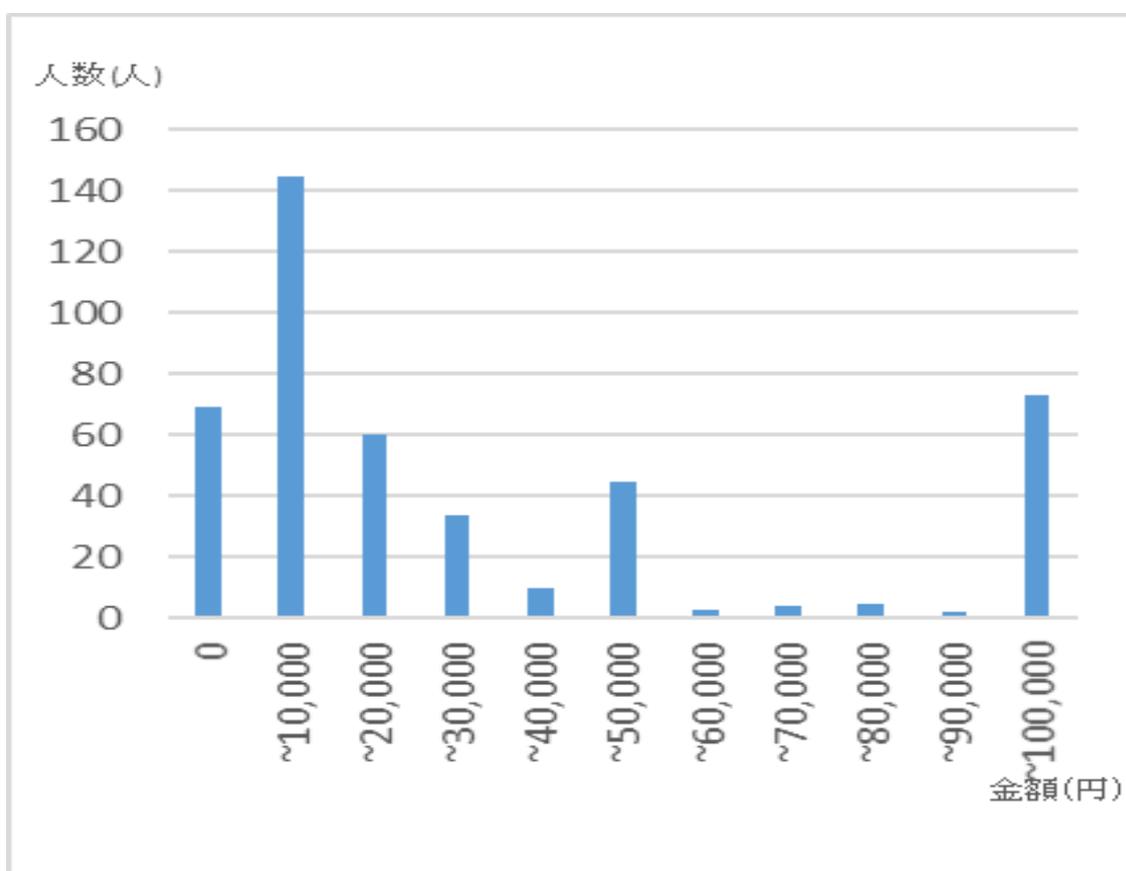
問3 月謝以外に支払っている年間の費用負担（例：光熱費、大会・コンクール参加代、遠征代などの諸経費）は、どの程度ですか？

基礎統計量		金額（円）
平均値		30,895
中央値		15,000
最小値		0
最大値		100,000

注) 分析対象者は 450 名

金額	0	~10,000	~20,000	~30,000	~40,000	~50,000
人数	69	145	60	34	10	45

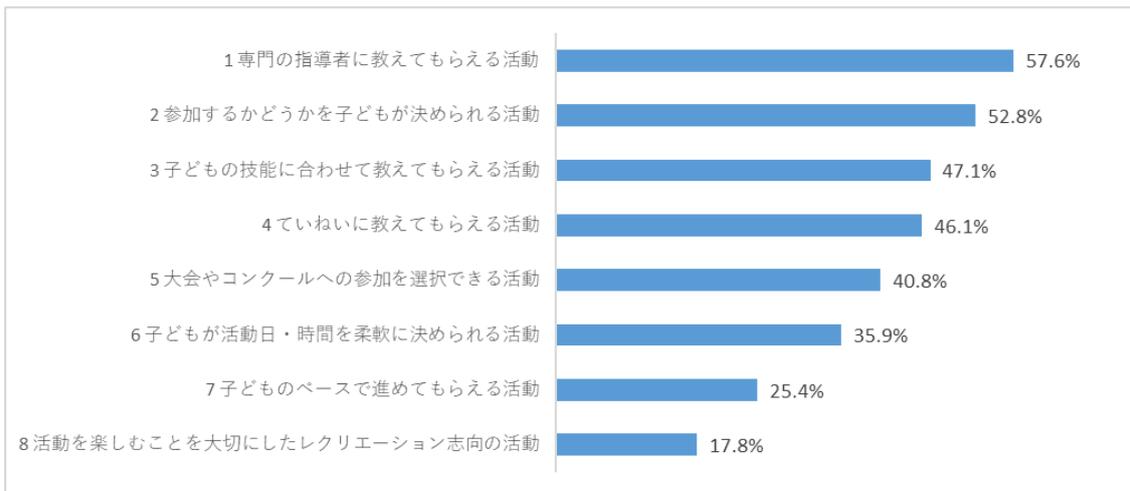
金額	~60,000	~70,000	~80,000	~90,000	~100,000	総計
人数	3	4	5	2	73	450



## 2 地域クラブのスポーツ・文化活動に望むこと

主な結果	
✓	どのような活動であれば、お子さんが休日のスポーツや文化の活動をしたいと思うかを尋ねたところ、「専門の指導者に教えてもらえる活動」「参加するかどうかを子どもが決められる活動」「子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動」の順で回答した割合が高かった。

問4 あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想定し、質問にご回答ください。どのような活動であれば、あなたのお子さんは休日のスポーツや文化の活動をしたいと考えますか？（複数回答可）



項目	n	%
1 専門の指導者に教えてもらえる活動	729	57.6%
2 参加するかどうかを子どもが決められる活動	668	52.8%
3 子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動	596	47.1%
4 ていねいに教えてもらえる活動	583	46.1%
5 大会やコンクールへの参加を選択できる活動	516	40.8%
6 子どもが活動日・時間を柔軟に決められる活動	455	35.9%
7 子どものペースで進めてもらえる活動	322	25.4%
8 活動を楽しむことを大切にしたレクリエーション志向の活動	225	17.8%

### 3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額

主な結果	
✓	移行後の地域クラブ活動に対して月謝を支払う場合、許容される金額は、平均 4,518 円(+912 円)、中央値 4,000 円(+1,000 円)であった。前回調査より約 1,000 円上がっていた。

問5 あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想定した場合、月謝はいくらまでであれば許容できますか？

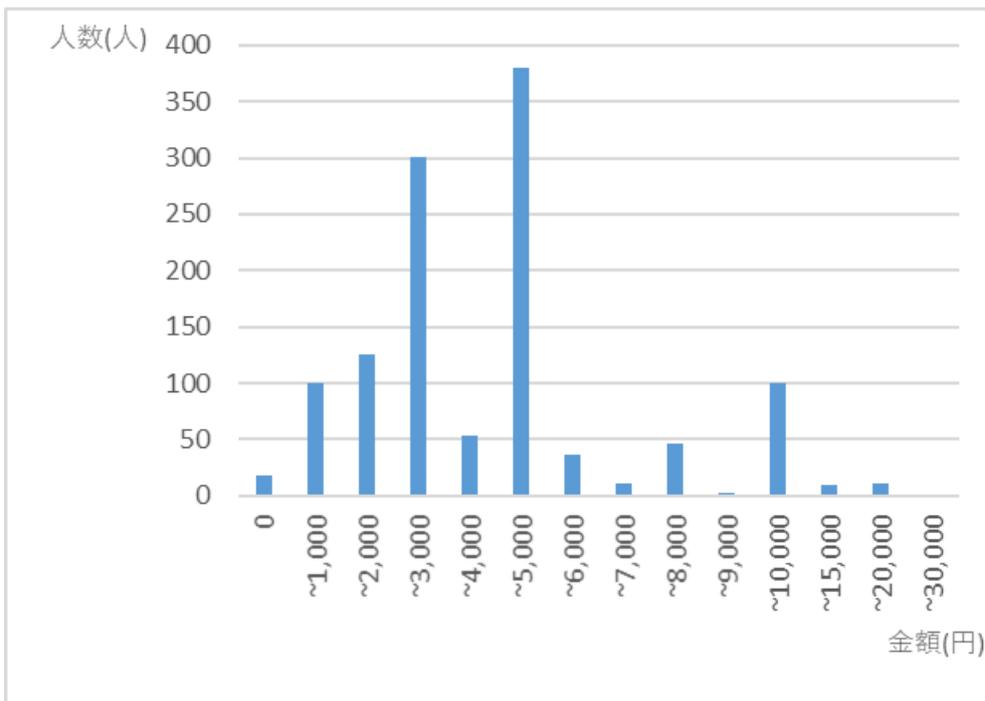
(円)

基礎統計量	R6	R4
平均値	4,518	3,606
中央値	4,000	3,000
最小値	0	0
最大値	30,000	50,000

注1) 分析対象者は 1,195 名。

金額	0	~1,000	~2,000	~3,000	~4,000	~5,000	~6,000	~7,000
人数	18	100	126	301	53	380	36	11

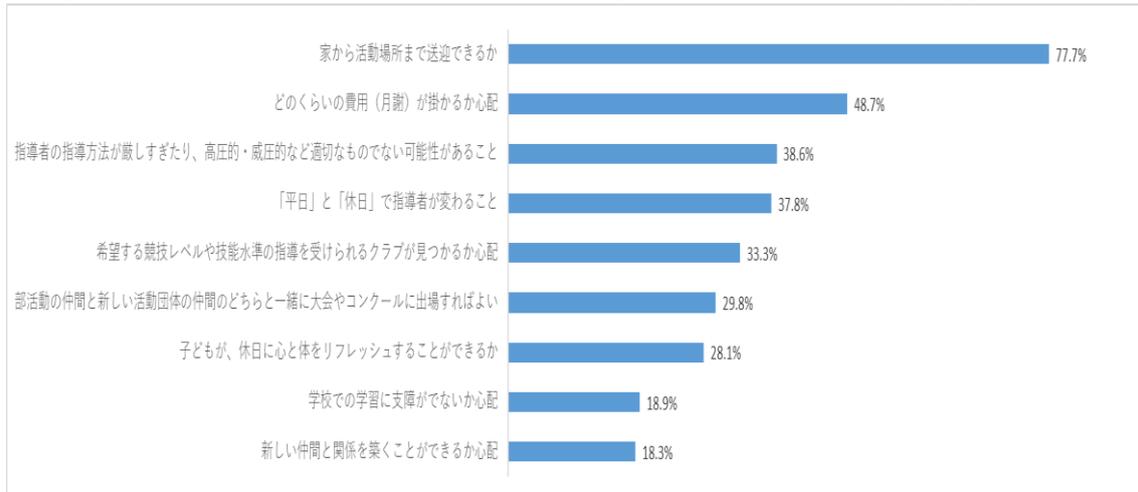
金額	~8,000	~9,000	~10,000	~15,000	~20,000	~30,000	計
人数	47	2	100	9	11	1	1,195



## 4 地域クラブ活動への加入に伴う心配

主な結果	
✓	地域クラブ活動への加入に伴う心配や不安としては、「家から活動場所まで送迎できるか」を77.7%の保護者が心配している。次いで「どのくらいの費用(月謝)が掛かるか」(48.7%)の順である。これらは、小学生の保護者が持っている心配と同じ傾向にある。

問6 休日の部活動はなくなり、地域クラブで活動するようになったとき、心配なことや不安なことはありますか？ 今のあなたの考えを選んでください。(複数回答可)



項	目	n	%
1	家から活動場所まで送迎できるか	944	77.7%
2	どのくらいの費用(月謝)が掛かるか心配	592	48.7%
3	指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること	469	38.6%
4	「平日」と「休日」で指導者が変わる	459	37.8%
5	希望する競技レベルや技能水準の指導を受けられるクラブが見つかるか心配	405	33.3%
6	部活動の仲間と、新しい活動団体の仲間のどちらと一緒に大会やコンクールに出場すればよいか困りそう	362	29.8%
7	子どもが、休日に心と体をリフレッシュすることができるか	341	28.1%
8	学校での学習に支障がでないか心配	230	18.9%
9	新しい仲間と関係を築くことができるか心配	222	18.3%



## 中学校教員を対象とした調査の結果

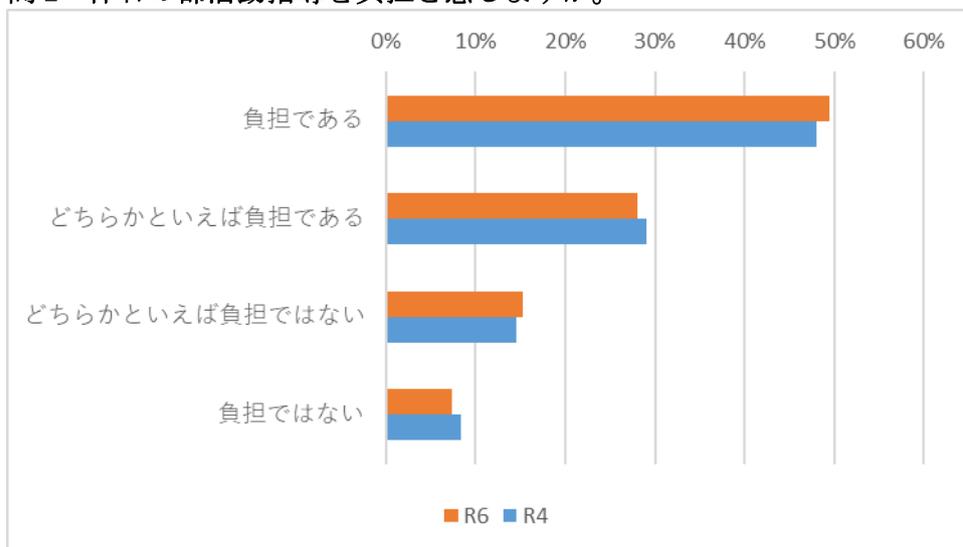
## 1 部活動顧問の割合、休日部活動の負担感

主な結果	
✓	本調査に回答した教職員 331 名のうち 196 名(59.2%)が部活動の顧問を担当していた。
✓	休日の部活動指導に対して、77.4%の者は「負担である」「どちらかといえば負担である」であった(+0.3p)。2年前と比較しても顧問の負担感は減っていない。

### 問1 現在、あなたは部活動の顧問をしていますか？

項目	n	%
1 運動系部活動の顧問をしている	149	45.0%
2 文化系部活動の顧問をしている	45	13.6%
3 運動系部活動と文化系部活動を掛け持ちした顧問をしている	2	0.6%
4 担当または顧問をしていない	130	39.3%
無回答	5	1.5%
合計	331	100%

### 問2 休日の部活動指導を負担と感じますか。

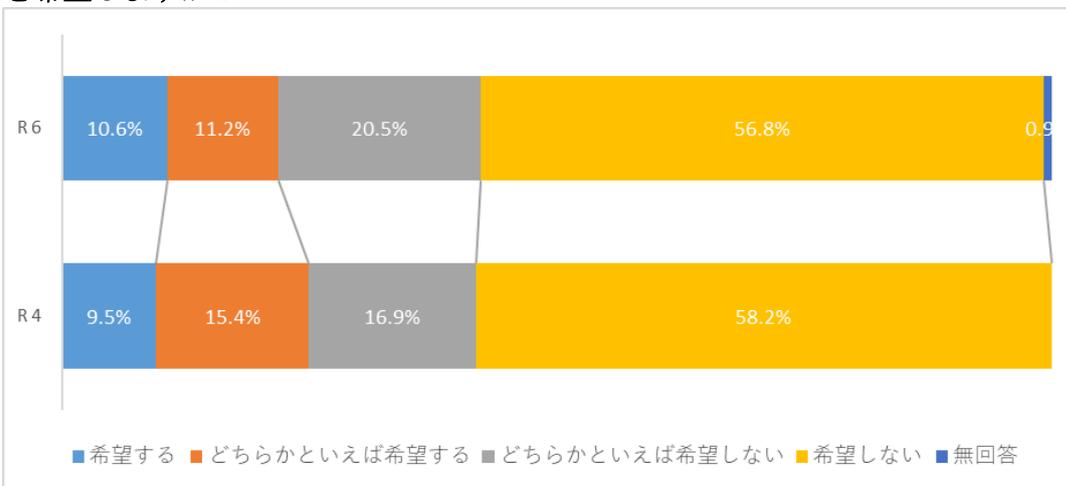


項目	n	R6	R4
1 負担である	155	49.4%	48.0%
2 どちらかといえば負担である	88	28.0%	29.1%
3 どちらかといえば負担ではない	48	15.3%	14.5%
4 負担ではない	23	7.3%	8.4%
合計	314	100%	100%

## 2 休日の地域クラブ活動の指導希望

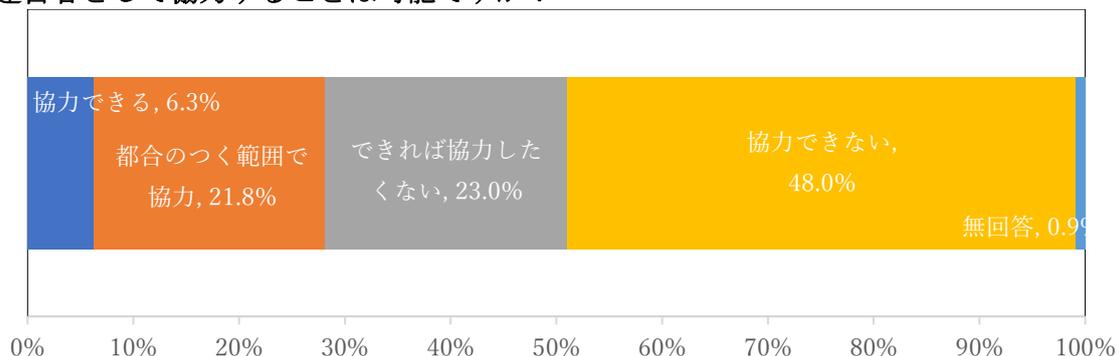
主な結果	
✓	休日の地域クラブ活動の指導について、「希望する」「どちらかといえば希望する」と回答した者は 21.8%であった(-3.1p)。
✓	休日の協会および連盟主催の大会(中体連は除く)等の運営について、審判員等の運営者として協力できるかどうかについては、「協力できる」「都合がつく範囲で協力」と答えた人が 28.1%であった。
✓	大会運営の報酬は 1 時間 1500 円以上を希望とする割合(25.1%)が高かったが、「報酬があっても協力できない」と答えた人が最も高かった(33.8%)。

問3 中学校の部活動が「地域移行」として令和7年度末までに休日の部活動がなくなり、地域移行が想定されます。あなたは、休日の地域のスポーツ・文化芸術活動の指導を希望しますか？



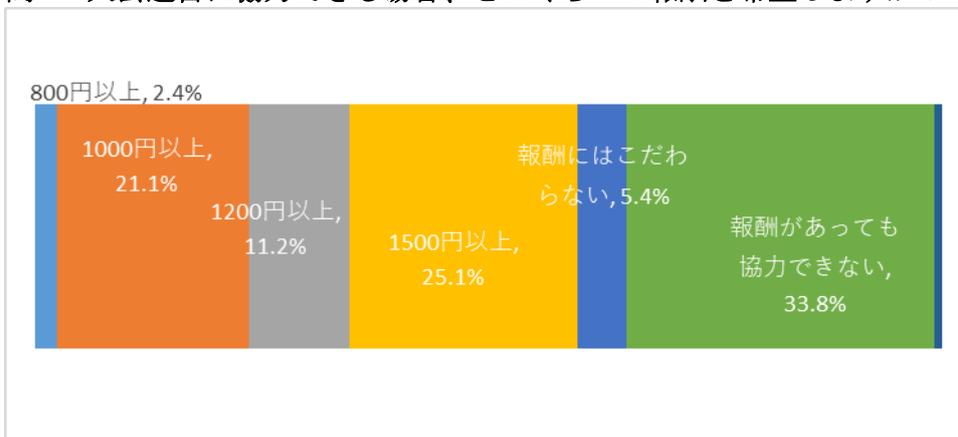
項目	n	R6	R4
1 希望する	35	10.6%	9.5%
2 どちらかといえば希望する	37	11.2%	15.4%
3 どちらかといえば希望しない	68	20.5%	16.9%
4 希望しない	188	56.8%	58.2%
無回答	3	0.9%	
合計	201	100%	100%

問4 休日の協会および連盟主催の大会(中体連は除く)等の運営について、審判員等の運営者として協力することは可能ですか？



項目	n	%
1 協力できる	21	6.3%
2 都合のつく範囲で協力したい	72	21.8%
3 できれば協力したくない	76	23.0%
4 協力できない	159	48.0%
無回答	3	0.9%
合計	201	100%

問5 大会運営に協力できる場合、どのくらいの報酬を希望しますか？

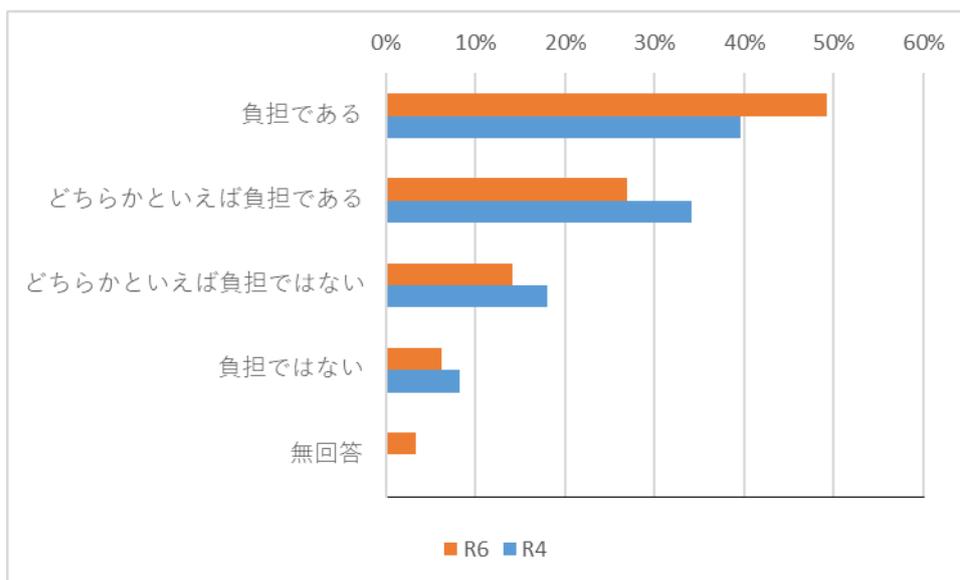


項目	n	%
1 1時間 800円以上	8	2.4%
2 1時間 1000円以上	70	21.1%
3 1時間 1200円以上	37	11.2%
4 1時間 1500円以上	83	25.1%
5 報酬にはこだわらず協力したい	18	5.4%
6 報酬があっても協力できない	112	33.8%
無回答	3	0.9%
合計	331	100%

### 3 平日部活動の負担感、平日の地域クラブ活動の指導希望、指導者資格の有無

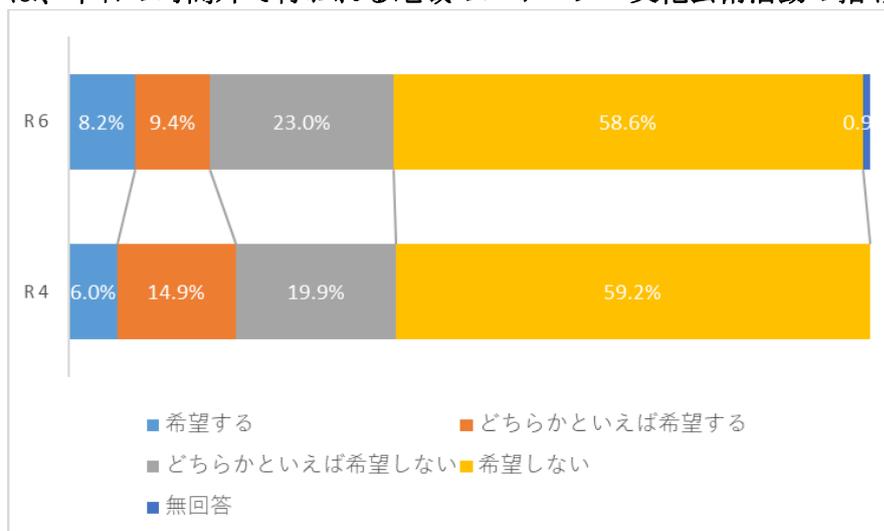
主な結果	
✓	平日の部活動指導に対して、76.1%の者は「負担である」「どちらかといえば負担である」であった(+2.4p)。
✓	平日の地域クラブ活動の指導について、「希望する」「どちらかといえば希望する」と回答した者は17.6%であった(-3.1p)。
✓	指導者資格について、「所持している」と回答した者は18名であった。

#### 問6 平日の部活動指導を負担と感じますか。



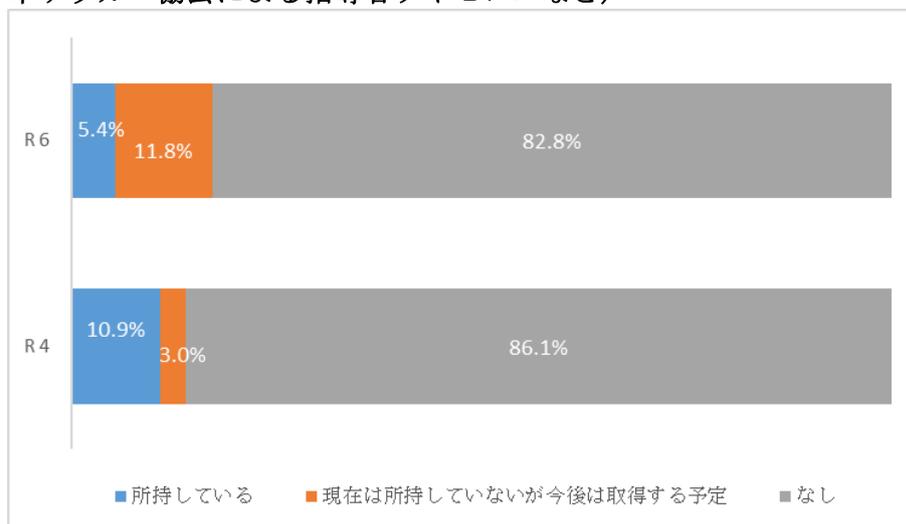
項目	n	R6	R4
1 負担である	163	49.2%	39.6%
2 どちらかといえば負担である	89	26.9%	34.1%
3 どちらかといえば負担ではない	47	14.2%	18.1%
4 負担ではない	21	6.3%	8.2%
無回答	11	3.3%	
合計	314	100%	100%

問7 令和8年度以降、平日の部活動についても地域移行が想定されています。あなたは、平日の時間外で行われる地域のスポーツ・文化芸術活動の指導を希望しますか？



項目	n	R6	R4
1 希望する	27	8.2%	6.0%
2 どちらかといえば希望する	31	9.4%	14.9%
3 どちらかといえば希望しない	76	23.0%	19.9%
4 希望しない	194	58.6%	59.2%
無回答	3	0.9%	
合計	331	100%	100%

問8 現在、あなたは協会等による指導者資格を所持していますか？（たとえば、日本サッカー協会による指導者ライセンスなど）



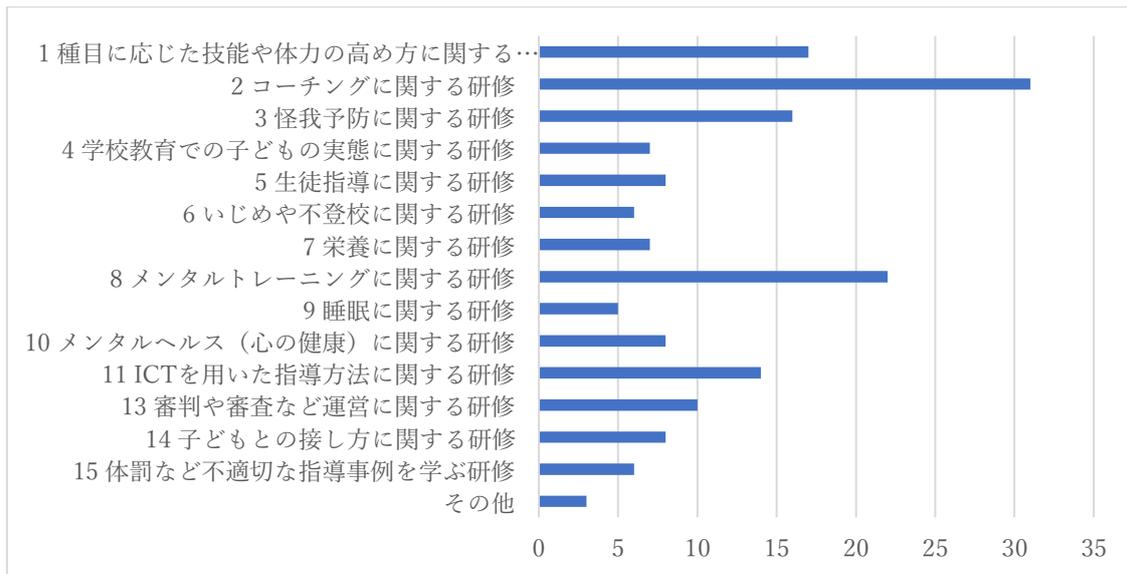
項目	n	R6	R4
1 所持している	18	5.4%	10.9%
2 現在は所持していないが、今後は取得する予定	39	11.8%	3.0%
3 なし	274	82.8%	86.1%
合計	331	100%	100%

## 4 指導者研修の希望

### ✓ 主な結果

- ✓ 専門性を高めるために受講したい研修について尋ねたところ、「コーチングに関する研修」「メンタルトレーニングに関する研修」の順で、希望したいと回答する割合が高かった。

問9 指導者が自身の専門性を高めるために、今後受講したい研修について、あなたの考えを教えてください。(複数回答可)



項目	n
1 種目に応じた技能や体力の高め方に関する研修	17
2 コーチングに関する研修	31
3 怪我予防に関する研修	16
4 学校教育での子どもの実態に関する研修	7
5 生徒指導に関する研修	8
6 いじめや不登校に関する研修	6
7 栄養に関する研修	7
8 メンタルトレーニングに関する研修	22
9 睡眠に関する研修	5
10 メンタルヘルス（心の健康）に関する研修	8
11 ICTを用いた指導方法に関する研修	14
13 審判や審査など運営に関する研修	10
14 子どもとの接し方に関する研修	8
15 体罰など不適切な指導事例を学ぶ研修	6
その他	3

## 周知事項 1

## 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」の開催について

## 1 趣旨

市民、職員など多様な人々が、身近な地域や暮らしの課題について共に考え学びあう場として標記集会を開催することについて周知します。

## 2 開催概要

## (1) 日時

令和7年2月16日（日） 9時30分～16時30分

## (2) 会場

松本市中央公民館（Mウイング）他

## (3) 主催

松本市、松本市教育委員会、松本市地域づくり研究連絡会

## (4) 内容

## ア 全体会（パネルディスカッション）

松本大学向井健准教授の進行のもと3人の地域実践者が事例発表を行い、地域づくりを進めるうえでの対話の重要性について参加者と一緒に考えます。

## (ア) 進行

松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 准教授 向井 健 氏

## (イ) パネリスト

元松本市社会福祉協議会四賀地区センター課長 山岸 勝子 氏

島内島高松町会長、島高松未来づくり検討会会長 高山 拓郎 氏

大野川小中学校コミュニティ・スクール コーディネーター 相馬 露子 氏

## イ 分科会

6つの課題別分科会ごとに話し合いを深めて、参加者が“気づき”や“つながり”をそれぞれが暮らす地域に持ち帰り、生かしていくことを目的とします。

※詳細は、別紙チラシのとおり

## 3 周知等

各公民館、市公式HP等を通じて周知を行います。

担当 生涯学習課  
課長 廣田 圭男  
電話 32-1132



## まちづくりの集いとは

「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」は、住民・職員が身近な地域や生活・暮らしの課題について共に考え、学びあう場です。地域で行われている活動の事例をもとに話し合いを深め“気づき”や“つながり”を持ち帰り、自分が暮らす地域に生かしていくことを目的として開催します。

誰でもお気軽にご参加いただけますので、ぜひお出かけください。

### 時間割

9:00	9:30~9:45	9:45~11:50	11:50~13:00	13:00~16:30
受付	開会式	全体会	昼食・休憩	分科会

※詳細はホームページをご確認ください。

### 参加申込

2月7日(金)までに、下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、最寄りの公民館または集會事務局へご提出いただくか、電子メール、電話、FAXのいずれかでお申し込みください。インターネット申込専用フォーム(LoGo フォーム)からもお申込みいただけます。※手話通訳、要約筆記通訳、託児保育等が必要な方は、お手数ですが、参加申込前にご相談ください。

※第5分科会をご希望の方のみ、松原地区公民館(電話・57-2322 FAX・85-3103)まで電話またはFAXでお申し込みください。

#### ●集會事務局

〒390-0811 松本市中央1-18-1 松本市中央公民館(Mウイング)  
電話: 0263-32-1132 / FAX: 0263-37-1153  
E-mail: gakushu@city.matsumoto.lg.jp



LoGo フォーム

### その他

- 松本市営中央駐車場(Mウイング北棟)は有料です。公共交通機関等でのご参加にご協力ください。
- 当日は写真や動画の撮影を行います。撮影したものは新聞や公民館報、松本市ホームページ、YouTube 松本市公民館公式チャンネル等に掲載いたします。あらかじめご了承ください。

## キリトリ

### 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い 参加申込書

氏名	住所	電話				
(ふりがな)	〒	FAX				
		E-mail				
備考欄(所属団体・役職・活動等)						
開会式・全体会		分科会		手話通訳	要約筆記	車椅子
参加 / 不参加		参加(第 分科会) / 不参加				託児保育

- 開会式、全体会、分科会の参加・不参加について、いずれかに「○」をつけてください。
- 分科会に参加する場合、希望する分科会の番号(1~6)をご記入ください。
- 手話通訳、要約筆記、車椅子利用、託児保育が必要な場合は、該当するものに「○」をつけてください。

【事務局使用欄】

受付日		受付者	
-----	--	-----	--

## 第40回松本市公民館研究集会 令和6年度松本市地域づくり市民活動研究集会

# 未来へつなぐ 私たちの まちづくりの集い



**2月16日**  **9:30 ▶ 16:30** 9:00 受付開始  
松本市中央公民館(Mウイング)他  
※第2分科会と第5分科会は別会場となります。  
松本市中央1-18-1 電話 0263-32-1132 / FAX 0263-37-1153



主催:松本市・松本市教育委員会・松本市地域づくり研究連絡会  
主管:未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会



最新の情報はホームページをご確認ください。

# 未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い



## 全体会

### パネルディスカッション

「地域が動き出す」  
～自治を紡ぐ語り合いの実践から～

#### ●モデレーター

向井 健氏 (松本大学 総合経営学部観光ホスピタリティ学科 准教授)



向井 健氏

#### ●内容

地域づくりを進めるための対話の重要性を皆さんと一緒に考えます。

#### パネリスト

- ・山岸 勝子氏：元松本市社会福祉協議会四賀地区センター課長
- ・高山 拓郎氏：島内島高松町会長、島高松未来づくり検討会会長
- ・相馬 落子氏：大野川小中学校コミュニティ・スクールコーディネーター

## 地域 防災

### 第1分科会

#### いざって時、どう動く？

～地域で取り組むお互い様の防災対策と行政との協働～

近所のこと、避難所のこと、要支援者のことなどなど……災害は平等でも被災は平等にならないことを考慮すると災害時に考えなければならないことはたくさんあります。  
みんなで学んで、地域への生かし方を考えましょう！！



## 子ども 若者

### 第2分科会

●開催場所：第三地区公民館  
(松本市中央4-7-28)

#### 地域は子育て応援団

～地域にある子どもの居場所を知ろう～

教えてください、子育ての困った！ 地域はあなたの子育てを応援しています。  
子どもの居場所に関わる地域や学生の取り組みを知り、  
子育てに「地域」という選択肢を持ちませんか？



## 共生 社会

### 第3分科会

#### 共生社会

～違いを力に、共に生きる未来へ～

障がいのある人もない人も、笑顔で共に生きていくことができる社会とはどんな社会でしょうか。  
お互いの違いを認め、尊重し合える「共生社会」を目指した地域の実践を通じて、未来への共生の心を育みませんか？



## 高齢者

### 第4分科会

#### みんなが「集う」場所をつくるには？

地域の人と顔を合わせほっとできる場所。  
人と人とのつながりをつくる場所。生活の困りごとを相談できる場所。  
そんな「集う」場所があれば、様々な世代の方、特に高齢の方は安心して暮らせるのではないのでしょうか？  
そんな場所づくりを、各地区の事例をヒントに学びます。



## 地域 資源

### 第5分科会

●開催場所：ジャズ雅鳴きたや  
(松本市笹賀2993-1)

#### 身近な資源を活用した地域づくり

松本市の魅力をそれぞれの価値観で捉え、  
熱意を持って住民と共に歩もうとする事例から、地域資源に対する視野を広げます。  
地域を見つめなおし、自分ができる活動と、  
人と人とのつながりづくりを一緒に考えてみませんか？



## 町会

### 第6分科会

#### 町会のシンカ

かつては、生きていくために周りの人たちとの交流が不可欠で、  
様々なことを地域の皆で協力してきました。  
でも、生活が豊かになり、人との交流もヘンカしてくると  
近所づきあいの希薄化が目立つようになりました。  
どんどんヘンカしていく地域社会。  
私たち一人ひとりがどのように地域に関わるべきか、改めて考えることが求められています。



## 周知事項 2

## 「発掘された松本2024」の開催について

## 1 趣旨

松本市内及び周辺地域の埋蔵文化財と史跡に対する市民の理解と関心を高めるため、標記イベントを開催することについて周知するものです。

## 2 イベント概要

## (1) 発掘された松本2024～松本市遺跡発掘報告会～

ア 日時 令和7年2月9日（日）13時～16時45分

イ 会場 あがたの森文化会館 講堂

ウ 内容

(ア) 開催25回記念講演

「考古ボーイが見た発掘と、生業に見る松本の大昔」

講師：上條信彦氏（弘前大学教授）

(イ) 令和6年に実施した発掘調査のうち5件の成果報告

・報告1 島内山田遺跡第4次・北部古窯址群第6・7次（文化財課職員）

・報告2 平田北遺跡第7次（文化財課職員）

・報告3 史跡松本城 本丸跡第7次・天守台第2次（文化財課職員）

・報告4 史跡松本城外堀跡 南外堀第7次・西外堀第6次（文化財課職員）

・松本市周辺の発掘紹介 塩尻市 内畑遺跡（塩尻市教育委員会職員）

エ 参加料 無料

オ 申込 不要

カ その他 報告会の様子を録画編集し、YouTubeで公開

## (2) 速報展「発掘された松本2024」

ア 期間 令和7年2月8日（土）～3月30日（日）

9時～17時（入館は16時30分まで）

休館日：2月は平日休館、3月は月曜日休館

イ 会場 松本市立考古博物館 2階 企画展示室

ウ 内容

(ア) 令和6年実施の発掘調査7件に係る出土資料及び写真パネルの展示

(イ) 松本城下町跡発掘調査30年に伴う関連展示

エ 観覧料 高校生以上200円、中学生以下無料

オ その他 史跡弘法山古墳発掘50周年記念企画展を同時開催

### 3 周知方法

- (1) 市ホームページ及び文化財課SNS
- (2) チラシ配布（地区公民館・県内博物館・大学・高校等）
- (3) プレスリリース
- (4) 広報まつもと2月号



#### 担当

文化財課	課長	田多井 用章	内線34-3292
博物館	館長	加藤 孝	内線32-0133